

第2章 要介護認定者調査

第2章 要介護認定者調査

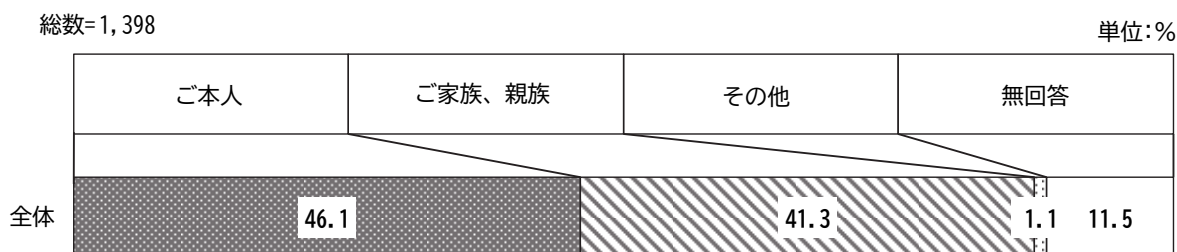
1 本人や家族の状況について

(1) 調査票の回答者

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。○をつけてください。

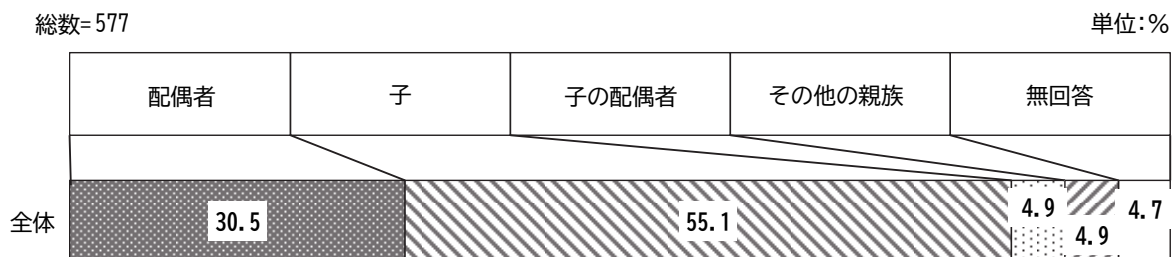
この調査票の記入者は、「ご本人」の割合が46.1%で最も高く、次いで「ご家族、親族」が41.3%となっている。

図表2-1-1 回答者



「ご家族、親族」の内訳は、「子」の割合が55.1%で最も高く、次いで「配偶者」が30.5%、「子の配偶者」、「その他の親族」が4.9%となっている。

図表2-1-2 回答者「ご家族、親族」の内訳

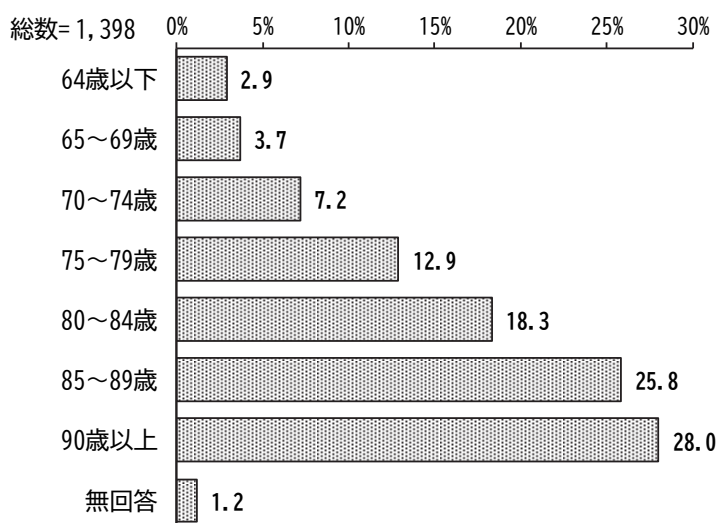


(2) 年齢

問2 あなたの令和4年10月1日現在の満年齢を教えてください。(〇は1つ)

年齢は、「90歳以上」の割合が28.0%で最も高く、次いで「85～89歳」が25.8%、「80～84歳」が18.3%となっている。64歳以下を除く全体では、前期高齢者（74歳以下）が10.9%、後期高齢者（75歳以上）が85.0%である。

図表2-1-3 年齢



(3) 性別

問3 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

性別は、「女性」の割合が63.1%、「男性」が35.9%となっている。

図表2-1-4 性別



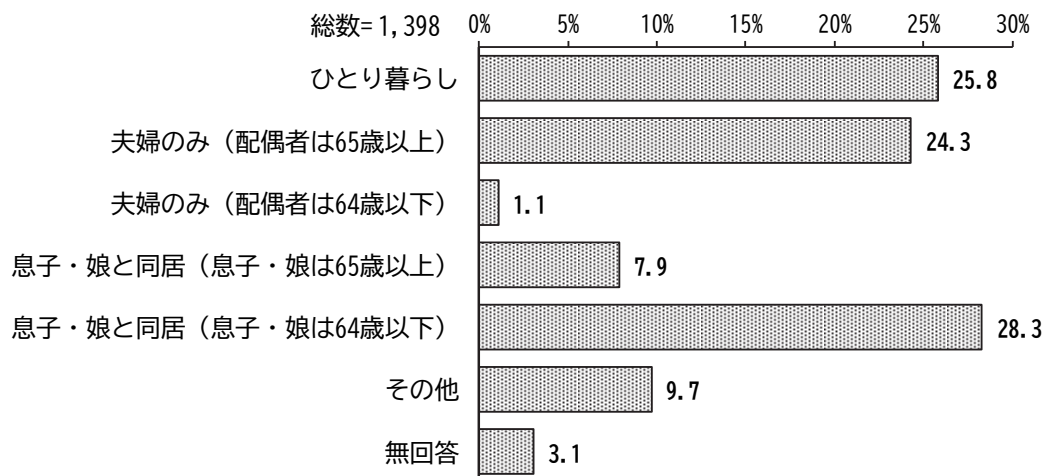
※性別「その他」は0.0%（0名）のため、以下の統計表では掲載を省略している。

(4) 家族構成

問4 あなたの家族構成を教えてください。(〇は1つ)

家族構成は、「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」の割合が28.3%で最も高く、次いで「ひとり暮らし」が25.8%、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が24.3%となっている。

図表2-1-5 家族構成



家族構成を性別で見ると、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」と「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」を合わせた『夫婦のみ』の合計は、男性41.8%、女性16.5%で男性が大きく上回っている。一方で「ひとり暮らし」は男性15.7%、女性31.6%で女性が上回っている。

また、年齢階級別にみると、男性は「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の割合が年齢階級が高くなるにつれて高くなり、「80～84歳」を境に減少に転じる。女性は「70～74歳」を境に『夫婦のみ』の割合が減少していき、「ひとり暮らし」、『息子・娘と同居』の割合が高くなる傾向が見られる。

図表2-1-6 家族構成（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

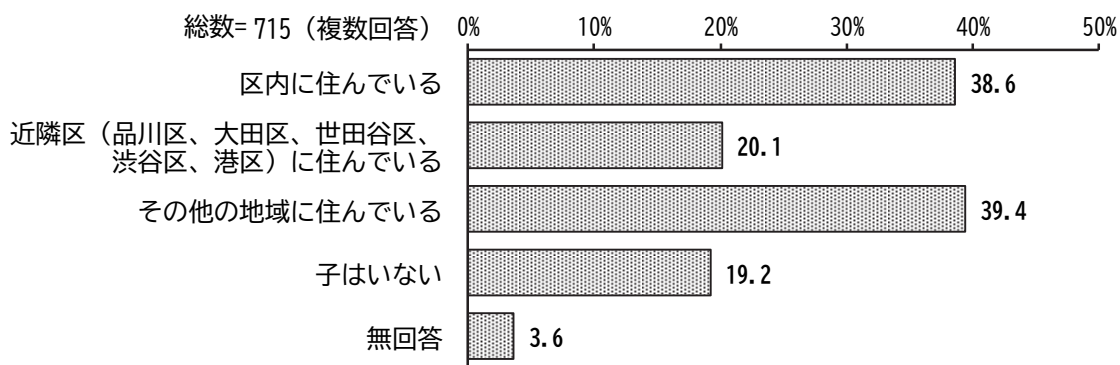
	全体	ひとり暮らし	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	その他	無回答
全体	1,398	360	340	15	110	395	135	43
	100.0	25.8	24.3	1.1	7.9	28.3	9.7	3.1
性別・年齢階級								
男性全体	502	79	199	11	16	136	47	14
	100.0	15.7	39.6	2.2	3.2	27.1	9.4	2.8
64歳以下	22	4	1	3	-	8	6	-
	100.0	18.2	4.5	13.6	-	36.4	27.3	-
65～69歳	30	7	9	6	-	3	5	-
	100.0	23.3	30.0	20.0	-	10.0	16.7	-
70～74歳	46	13	10	1	-	15	7	-
	100.0	28.3	21.7	2.2	-	32.6	15.2	-
75～79歳	72	13	27	1	-	18	11	2
	100.0	18.1	37.5	1.4	-	25.0	15.3	2.8
80～84歳	110	15	53	-	2	28	7	5
	100.0	13.6	48.2	-	1.8	25.5	6.4	4.5
85～89歳	127	16	61	-	3	38	5	4
	100.0	12.6	48.0	-	2.4	29.9	3.9	3.1
90歳以上	93	10	37	-	11	26	6	3
	100.0	10.8	39.8	-	11.8	28.0	6.5	3.2
女性全体	882	279	141	4	94	259	88	17
	100.0	31.6	16.0	0.5	10.7	29.4	10.0	1.9
64歳以下	19	1	1	2	1	8	6	-
	100.0	5.3	5.3	10.5	5.3	42.1	31.6	-
65～69歳	22	4	7	-	-	9	1	1
	100.0	18.2	31.8	-	-	40.9	4.5	4.5
70～74歳	55	16	24	-	1	6	8	-
	100.0	29.1	43.6	-	1.8	10.9	14.5	-
75～79歳	107	32	36	-	-	24	11	4
	100.0	29.9	33.6	-	-	22.4	10.3	3.7
80～84歳	146	45	28	1	3	53	15	1
	100.0	30.8	19.2	0.7	2.1	36.3	10.3	0.7
85～89歳	233	75	32	1	12	92	16	5
	100.0	32.2	13.7	0.4	5.2	39.5	6.9	2.1
90歳以上	298	106	12	-	77	66	31	6
	100.0	35.6	4.0	-	25.8	22.1	10.4	2.0
無回答	14	2	-	-	-	-	-	12
	100.0	14.3	-	-	-	-	-	85.7

【問4で、「1」「2」「3」と回答した方におたずねします。】

問4-1 あなたには、別居しているお子さんはいらっしゃいますか。(〇はいくつでも)

別居している子は、「その他の地域に住んでいる」の割合が39.4%で最も高く、次いで「区内に住んでいる」が38.6%、「近隣区（品川区、大田区、世田谷区、渋谷区、港区）に住んでいる」が20.1%となっている。

図表2-1-7 子の有無と居住地

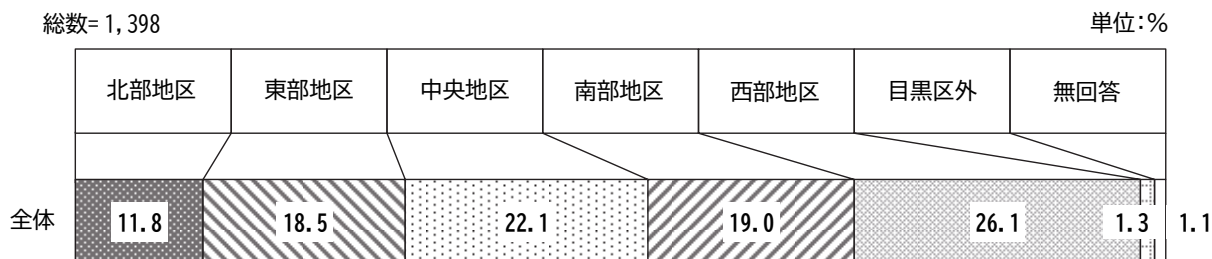


(5) 居住地区

問5 あなたは、どの地区にお住まいですか。地区名の番号に〇をつけてください。(〇は1つ)

居住地区は、「西部地区」の割合が26.1%で最も高く、「北部地区」が11.8%で最も低い。

図表2-1-8 居住地区

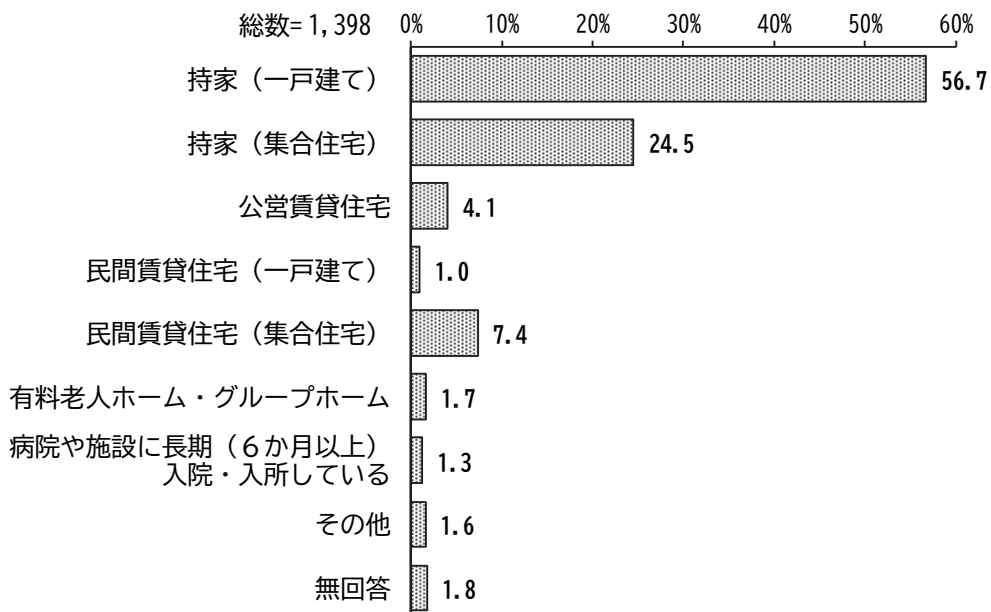


(6) 住まいの種類

問6 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(○は1つ)

住まいの種類は、「持家（一戸建て）」の割合が56.7%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が24.5%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.4%となっている。

図表2-1-9 住まいの種類

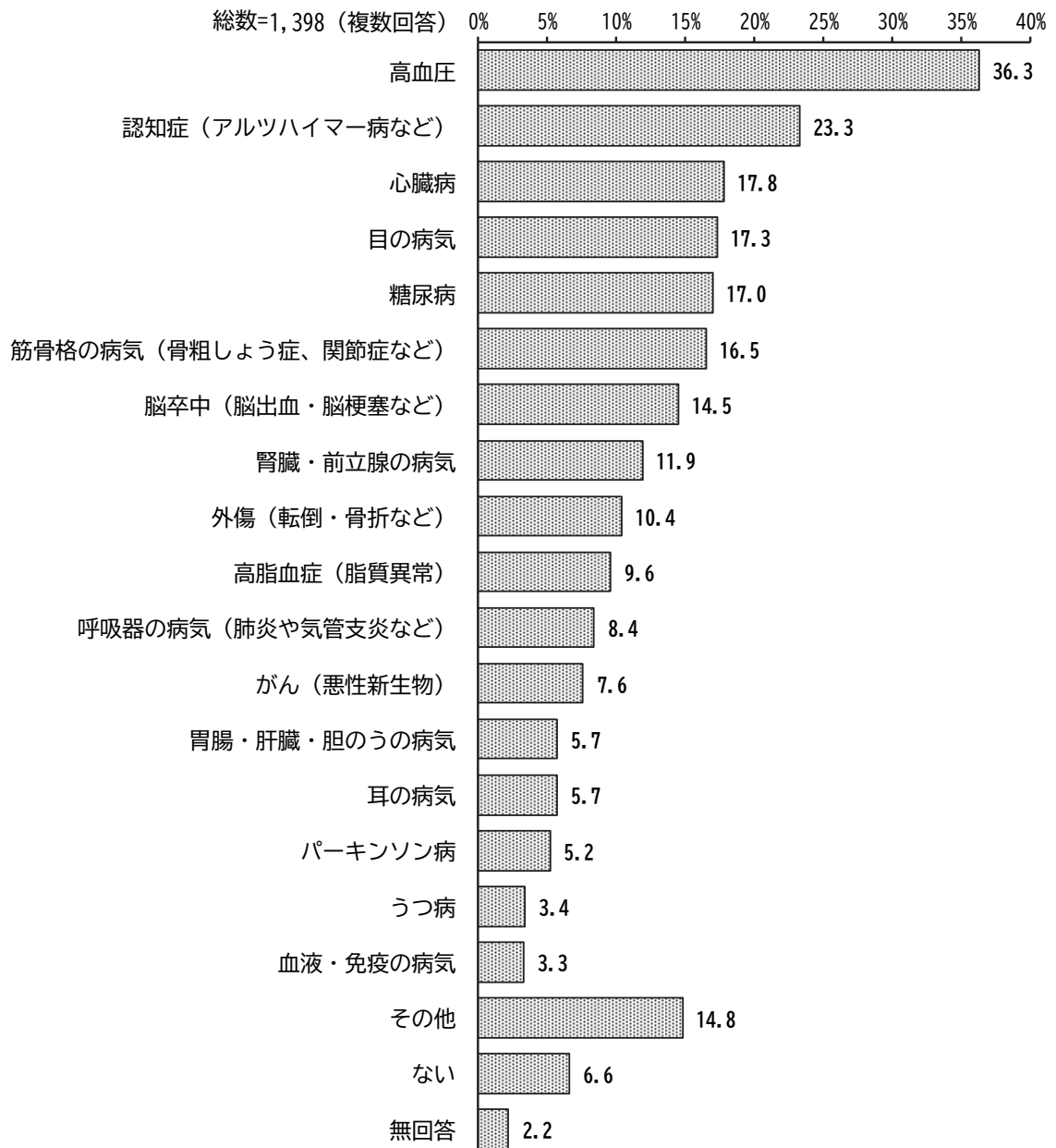


(7) 疾病の状況

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

現在治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」の割合が36.3%で最も高く、次いで「認知症（アルツハイマー病など）」が23.3%、「心臓病」が17.8%となっている。

図表2-1-10 治療中または後遺症のある病気の有無

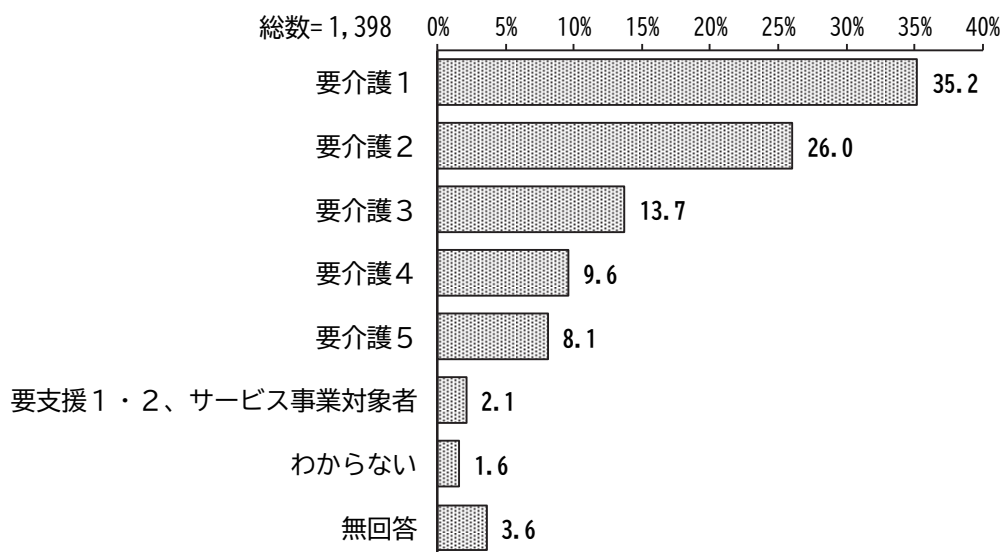


(8) 要介護度

問8 現在の要介護度を教えてください。(〇は1つ)

要介護度は、「要介護1」の割合が35.2%で最も高く、次いで「要介護2」が26.0%、「要介護3」が13.7%となっている。

図表2-1-11 要介護度



要介護度を性別・年齢階級別にみると、各年齢階級とも「要介護1」、「要介護2」の軽度者の割合が高い。「要介護3」から「要介護5」の中重度者では、男性・女性ともに「65～69歳」が他の年齢階級よりも高い割合となっている。

図表2-1-12 要介護度（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

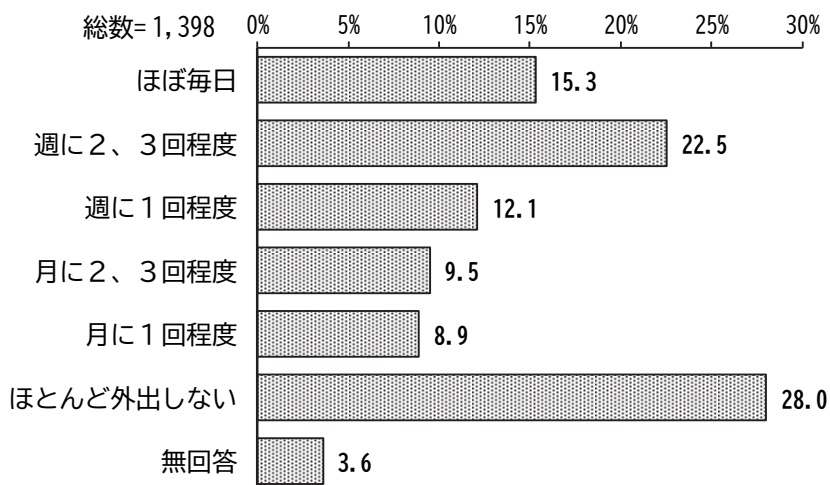
		全体	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	サービス支援1・2、 対象者	わからない	無回答
全体		1,398 100.0	492 35.2	364 26.0	191 13.7	134 9.6	113 8.1	30 2.1	23 1.6	51 3.6
性別・ 年齢階級	男性全体	502 100.0	172 34.3	130 25.9	67 13.3	53 10.6	43 8.6	10 2.0	8 1.6	19 3.8
	64歳以下	22 100.0	9 40.9	4 18.2	3 13.6	1 4.5	4 18.2	-	1 4.5	-
	65～69歳	30 100.0	6 20.0	10 33.3	6 20.0	2 6.7	6 20.0	-	-	-
	70～74歳	46 100.0	9 19.6	16 34.8	8 17.4	7 15.2	1 2.2	1 2.2	2 4.3	2 4.3
	75～79歳	72 100.0	25 34.7	19 26.4	10 13.9	6 8.3	8 11.1	-	1 1.4	3 4.2
	80～84歳	110 100.0	35 31.8	29 26.4	15 13.6	14 12.7	7 6.4	3 2.7	1 0.9	6 5.5
	85～89歳	127 100.0	54 42.5	26 20.5	12 9.4	13 10.2	8 6.3	4 3.1	3 2.4	7 5.5
	90歳以上	93 100.0	33 35.5	26 28.0	13 14.0	9 9.7	9 9.7	2 2.2	-	1 1.1
	女性全体	882 100.0	315 35.7	232 26.3	123 13.9	79 9.0	69 7.8	20 2.3	15 1.7	29 3.3
	64歳以下	19 100.0	7 36.8	2 10.5	4 21.1	2 10.5	1 5.3	0 0.0	2 10.5	1 5.3
	65～69歳	22 100.0	8 36.4	2 9.1	6 27.3	2 9.1	3 13.6	1 4.5	-	-
	70～74歳	55 100.0	17 30.9	18 32.7	7 12.7	5 9.1	6 10.9	1 1.8	-	1 1.8
	75～79歳	107 100.0	46 43.0	26 24.3	12 11.2	7 6.5	5 4.7	4 3.7	3 2.8	4 3.7
	80～84歳	146 100.0	55 37.7	44 30.1	16 11.0	10 6.8	8 5.5	3 2.1	3 2.1	7 4.8
	85～89歳	233 100.0	88 37.8	69 29.6	28 12.0	19 8.2	14 6.0	5 2.1	2 0.9	8 3.4
	90歳以上	298 100.0	94 31.5	71 23.8	50 16.8	34 11.4	30 10.1	6 2.0	5 1.7	8 2.7
	無回答	14 100.0	5 35.7	2 14.3	1 7.1	2 14.3	1 7.1	-	-	3 21.4

(9) 外出の状況

問9 近所への買い物、散歩、通院などを含め、外出することはどのくらいありますか。
(デイサービスの利用は含まないでお答えください。)(○は1つ)

外出の状況は、「ほとんど外出しない」の割合が28.0%で最も高く、次いで「週に2、3回程度」が22.5%、「ほぼ毎日」が15.3%、「週に1回程度」が12.1%となっている。

図表2-1-13 外出の状況



外出の状況を性別・年齢階級別にみると、「ほぼ毎日」の割合は、男性の「70～74歳」が37.0%、女性の「65～69歳」が27.3%で最も高くなっている。また、「ほとんど外出しない」の割合は、年齢階級が高くなるにつれて高くなる傾向が見られ、「90歳以上」では男性41.9%、女性47.0%となっている。

図表2-1-14 外出の状況（性別・年齢階級別）

（上段：回答数、下段：構成比）

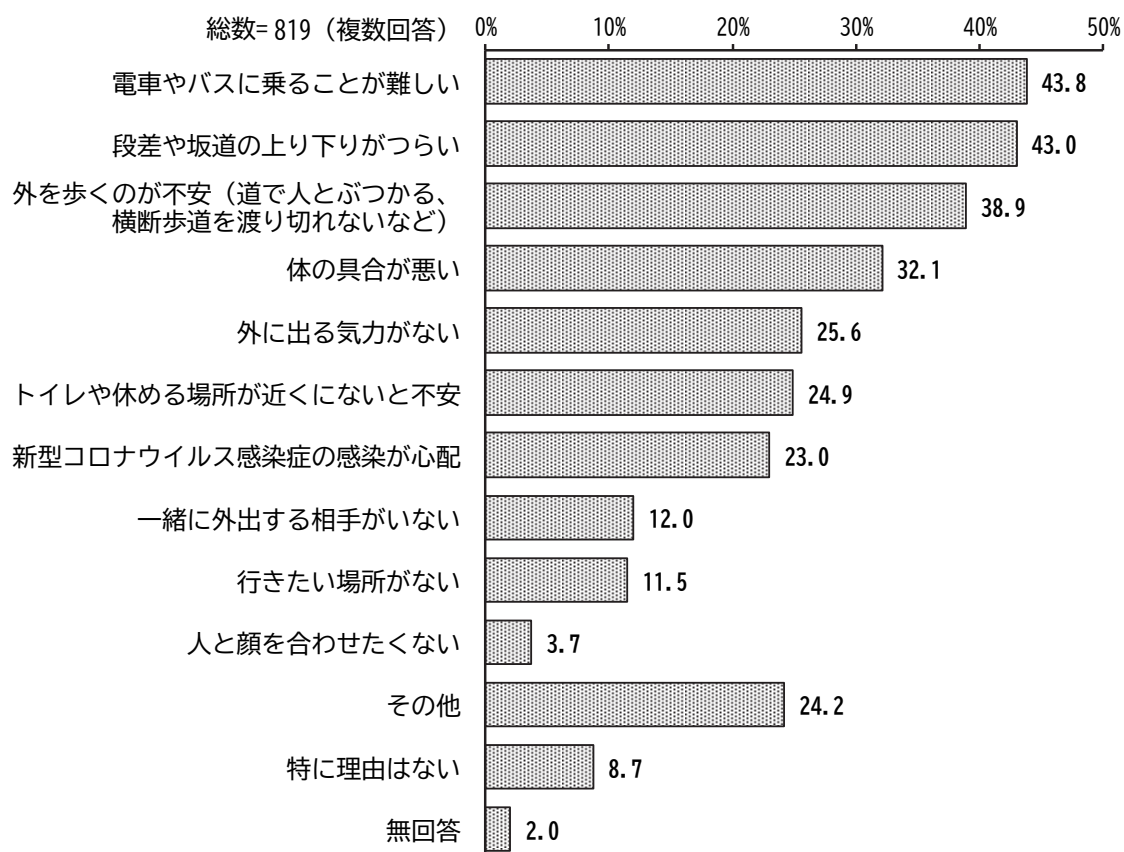
		全体	ほぼ毎日	週に2、3回程度	週に1回程度	月に2、3回程度	月に1回程度	ほとんど外出しない	無回答
全体		1,398 100.0	214 15.3	314 22.5	169 12.1	133 9.5	125 8.9	392 28.0	51 3.6
性別・年齢階級	男性全体	502 100.0	99 19.7	112 22.3	51 10.2	52 10.4	39 7.8	128 25.5	21 4.2
	64歳以下	22.0 100.0	7.0 31.8	2.0 9.1	3.0 13.6	3.0 13.6	-	6.0 27.3	1.0 4.5
	65～69歳	30 100.0	5 16.7	8 26.7	3 10.0	4 13.3	4 13.3	6 20.0	-
	70～74歳	46 100.0	17 37.0	12 26.1	5 10.9	4 8.7	2 4.3	3 6.5	3 6.5
	75～79歳	72 100.0	12 16.7	18 25.0	10 13.9	8 11.1	6 8.3	16 22.2	2 2.8
	80～84歳	110 100.0	25 22.7	24 21.8	8 7.3	12 10.9	11 10.0	26 23.6	4 3.6
	85～89歳	127 100.0	22 17.3	31 24.4	15 11.8	13 10.2	8 6.3	32 25.2	6 4.7
	90歳以上	93 100.0	10 10.8	17 18.3	6 6.5	8 8.6	8 8.6	39 41.9	5 5.4
	女性全体	882 100.0	112 12.7	199 22.6	116 13.2	80 9.1	86 9.8	262 29.7	27 3.1
	64歳以下	19.0 100.0	3.0 15.8	3.0 15.8	4.0 21.1	2.0 10.5	4.0 21.1	2.0 10.5	1.0 5.3
	65～69歳	22 100.0	6 27.3	10 45.5	1 4.5	-	-	5 22.7	-
	70～74歳	55 100.0	7 12.7	13 23.6	9 16.4	12 21.8	5 9.1	7 12.7	2 3.6
	75～79歳	107 100.0	29 27.1	28 26.2	13 12.1	7 6.5	11 10.3	16 15.0	3 2.8
	80～84歳	146 100.0	27 18.5	38 26.0	23 15.8	9 6.2	11 7.5	30 20.5	8 5.5
	85～89歳	233 100.0	24 10.3	63 27.0	36 15.5	23 9.9	20 8.6	61 26.2	6 2.6
	90歳以上	298 100.0	16 5.4	43 14.4	30 10.1	27 9.1	35 11.7	140 47.0	7 2.3
無回答	14 100.0	3 21.4	3 21.4	2 14.3	1 7.1	-	2 14.3	3 21.4	

【問9で、「3」「4」「5」「6」と回答した方におたずねします。】

問9-1 外出をためらってしまう理由は何ですか。(〇はいくつでも)

外出の回数が週に1回程度以下と回答した方が外出をためらう理由は、「電車やバスに乗ることが難しい」の割合が43.8%で最も高く、次いで「段差や坂道の上下りがつらい」が43.0%、「外を歩くのが不安(道で人とぶつかる、横断歩道を渡り切れないなど)」が38.9%となっている。

図表2-1-15 外出をためらう理由



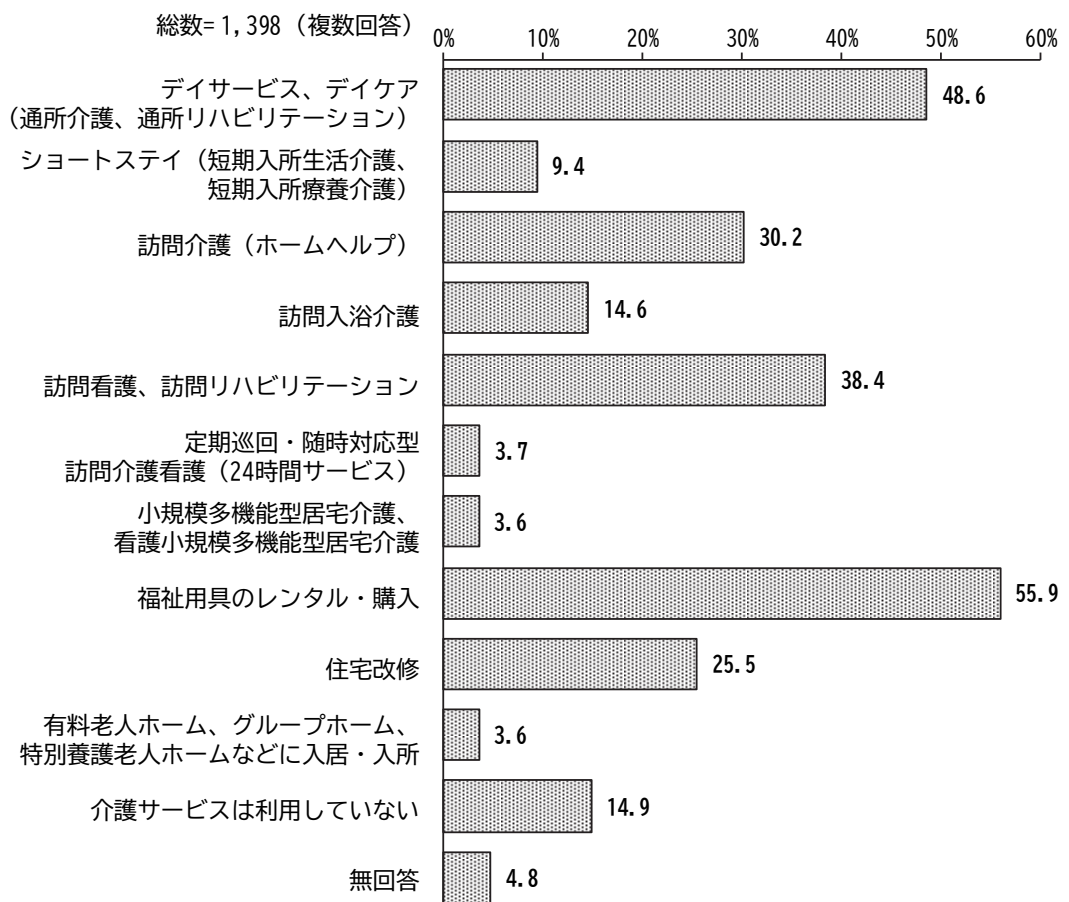
2 介護サービスの利用について

(1) 介護サービスの利用状況

問10 あなたが利用している介護サービスを教えてください。(〇はいくつでも)

現在利用している介護サービスは、「福祉用具のレンタル・購入」が55.9%で最も高く、次いで「デイサービス、デイケア（通所介護、通所リハビリテーション）」が48.6%、「訪問看護、訪問リハビリテーション」が38.4%となっている。

図表2-2-1 介護サービスの現在の利用状況

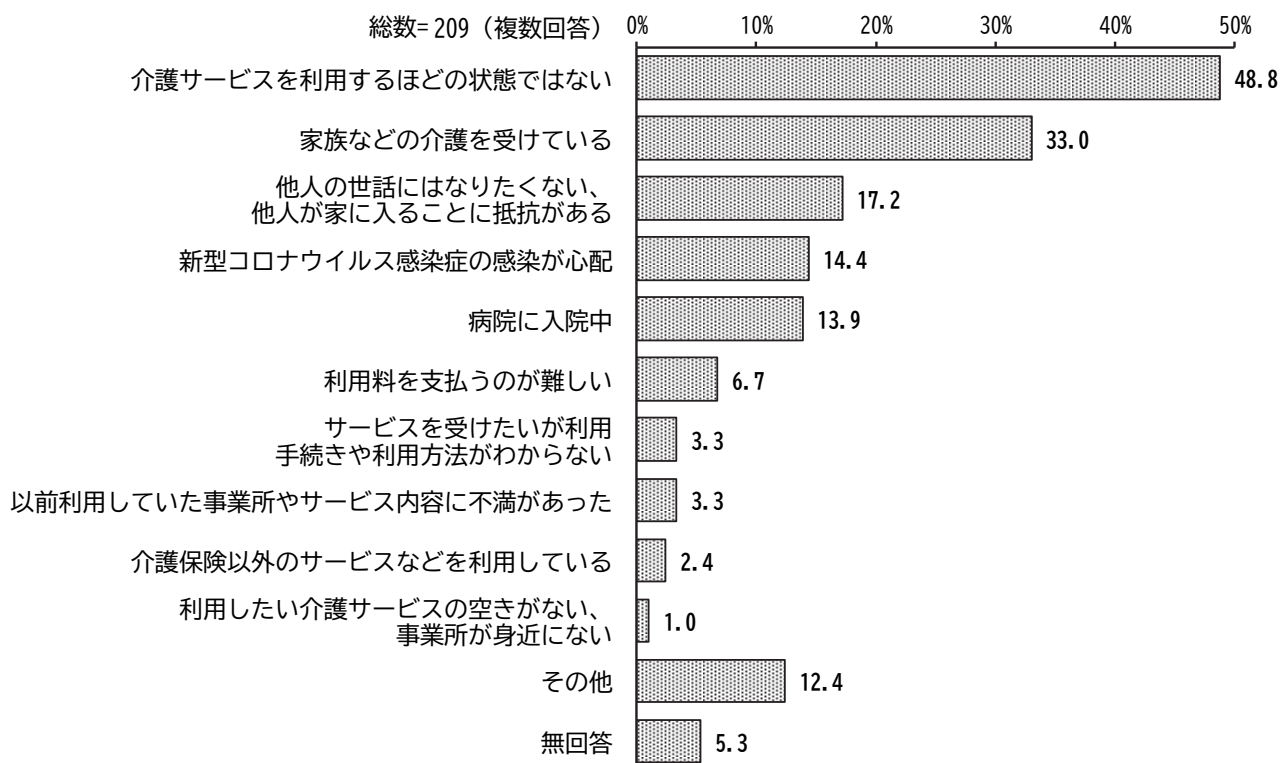


【問10で「11. 介護サービスは利用していない」と回答した方におたずねします。】

問10-1 介護サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護サービスを利用していない理由は、「介護サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が48.8%で最も高く、次いで「家族などの介護を受けている」が33.0%、「他人の世話にはなりたくない、他人が家に入ることに抵抗がある」が17.2%となっている。

図表2-2-2 介護サービスを利用していない理由



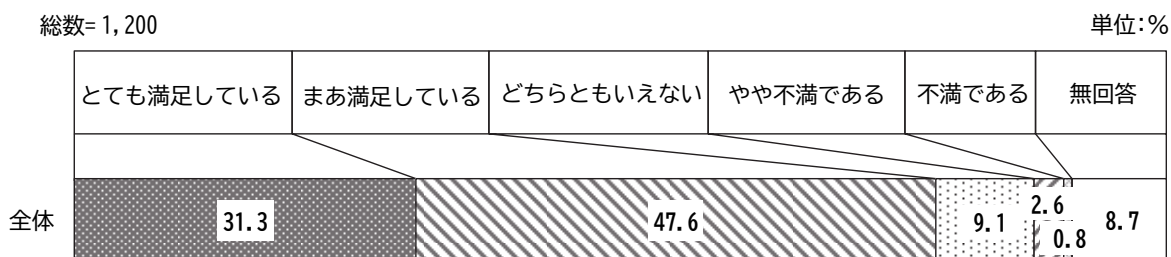
(2) ケアマネジャーや介護サービス全般の満足度

【ここから問13までは、問10で「1」～「10」と回答した方におたずねします。】

問11 ケアマネジャーや利用している介護サービス全般について、満足していますか。(〇は1つ)

ケアマネジャーや利用している介護サービス全般についての満足度は、「まあ満足している」の割合が47.6%で最も高く、「とても満足している」の31.3%と合わせると、『満足している』の割合は78.9%となっている。一方で、「やや不満である」と「不満である」を合わせた『不満である』の割合は3.4%となっている。

図表2-2-3 ケアマネジャーや介護サービス全般の満足度



ケアマネジャーや利用している介護サービス全般についての満足度を利用しているサービス別にみると、全てのサービスで「まあ満足している」の割合が最も高い。

「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』の割合は、「訪問介護（ホームヘルプ）」と「訪問入浴介護」が82.9%で最も高く、次いで「デイサービス、デイケア（通所介護、通所リハビリテーション）」が82.2%、「福祉用具」が80.5%となっている。

図表2-2-4 ケアマネジャーや介護サービス全般の満足度（利用しているサービス別）
（上段：回答数、下段：構成比）

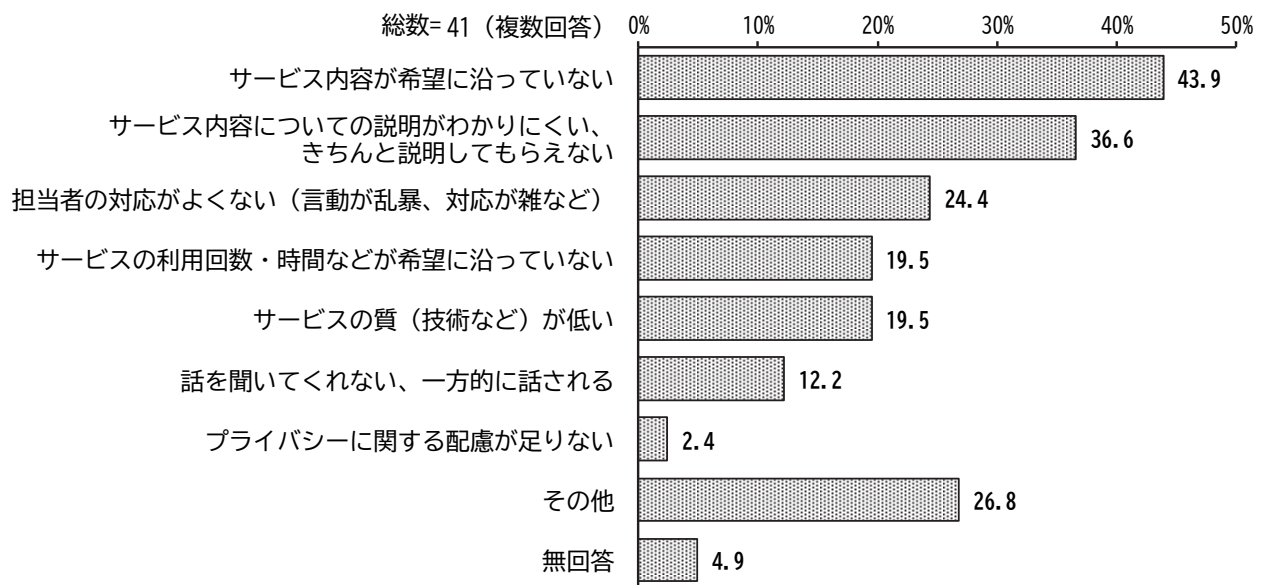
		全体	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
全体		1,200 100.0	375 31.3	571 47.6	109 9.1	31 2.6	10 0.8	104 8.7
利用しているサービス別	デイサービス、デイケア （通所介護、通所リハビリテーション）	679 100.0	220 32.4	338 49.8	50 7.4	15 2.2	8 1.2	48 7.1
	ショートステイ （短期入所生活介護、短期入所療養介護）	131 100.0	35 26.7	67 51.1	8 6.1	9 6.9	2 1.5	10 7.6
	訪問介護（ホームヘルプ）	422 100.0	133 31.5	217 51.4	28 6.6	13 3.1	2 0.5	29 6.9
	訪問入浴介護	204 100.0	65 31.9	104 51.0	13 6.4	5 2.5	1 0.5	16 7.8
	訪問看護、訪問リハビリテーション	537 100.0	166 30.9	257 47.9	50 9.3	13 2.4	4 0.7	47 8.8
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 （24時間サービス）	52 100.0	19 36.5	19 36.5	6 11.5	1 1.9	1 1.9	6 11.5
	小規模多機能型居宅介護、 看護小規模多機能型居宅介護	51 100.0	20 39.2	20 39.2	5 9.8	1 2.0	-	5 9.8
	福祉用具のレンタル・購入	782 100.0	257 32.9	372 47.6	63 8.1	17 2.2	7 0.9	66 8.4
	住宅改修	357 100.0	107 30.0	175 49.0	35 9.8	11 3.1	2 0.6	27 7.6
	有料老人ホーム、グループホーム、 特別養護老人ホームなどに入居・入所	51 100.0	8 15.7	25 49.0	9 17.6	-	-	9 17.6

【問11で「4. やや不満である」「5. 不満である」と回答した方におたずねします。】

問11-1 どのようなことに不満がありますか。(〇はいくつでも)

ケアマネジャーや利用している介護サービスに対する不満の理由は、「サービス内容が希望に沿っていない」の割合が43.9%で最も高く、次いで「サービス内容についての説明がわかりにくい、きちんと説明してもらえない」が36.6%、「担当者の対応がよくない（言動が乱暴、対応が雑など）」が24.4%となっている。

図表2-2-5 ケアマネジャーや介護サービスに対する不満の理由

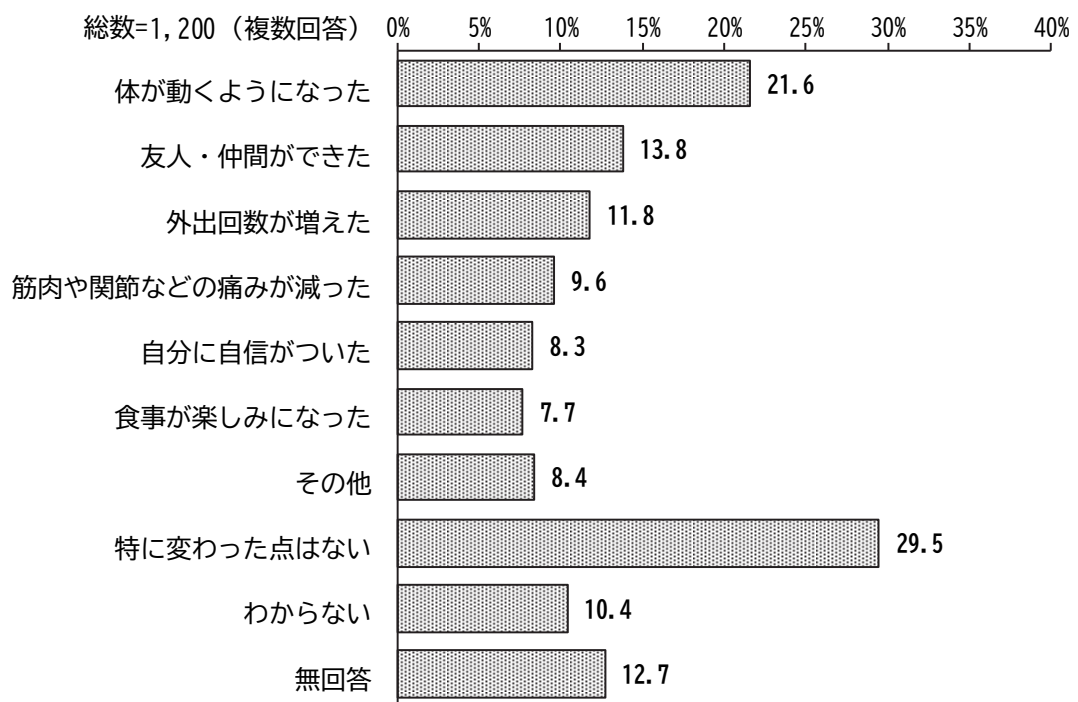


(3) 介護サービスの効果

問12 介護サービスを利用するようになってから、あなたの生活環境や身体状況に変化はありましたか。(〇はいくつでも)

介護サービスの利用による生活環境や身体状況への変化は、「特に変わった点はない」が29.5%で最も高く、次いで「体が動くようになった」が21.6%、「友人・仲間ができた」が13.8%、「友人・仲間ができた」が13.8%となっている。

図表2-2-6 介護サービスの効果



介護サービスの利用による生活環境や身体状況への変化を利用しているサービス別にみると、「体が動くようになった」では「定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）」が28.8%、「訪問看護、訪問リハビリテーション」が28.1%で最も高い割合となっている。一方、その他のサービスでは「特に変わった点はない」の割合が最も高くなっている。

図表2-2-7 介護サービスの効果（利用しているサービス別）

（上段：回答数、下段：構成比）

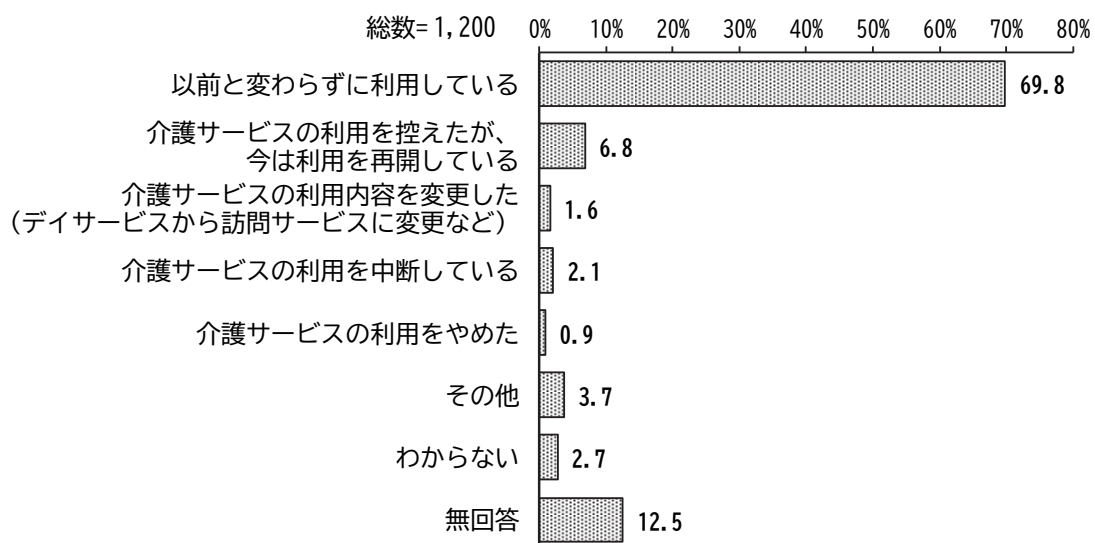
	全体	体が動くようになった	筋肉や関節などの痛みが減った	自分に自信がついた	食事が楽しみになった	友人・仲間ができた	外出回数が増えた	その他	特に変わった点はない	わからない	無回答	
全体	1,200 100.0	259 21.6	115 9.6	100 8.3	92 7.7	165 13.8	142 11.8	101 8.4	354 29.5	125 10.4	152 12.7	
利用しているサービス別	デイサービス、デイケア （通所介護、通所リハビリテーション）	679 100.0	150 22.1	55 8.1	57 8.4	60 8.8	150 22.1	108 15.9	42 6.2	197 29.0	60 8.8	69 10.2
	ショートステイ （短期入所生活介護、短期入所療養介護）	131 100.0	28 21.4	8 6.1	7 5.3	8 6.1	24 18.3	17 13.0	6 4.6	37 28.2	20 15.3	12 9.2
	訪問介護（ホームヘルプ）	422 100.0	104 24.6	47 11.1	40 9.5	43 10.2	45 10.7	46 10.9	44 10.4	123 29.1	47 11.1	36 8.5
	訪問入浴介護	204 100.0	50 24.5	22 10.8	18 8.8	17 8.3	14 6.9	14 6.9	23 11.3	68 33.3	20 9.8	20 9.8
	訪問看護、訪問リハビリテーション	537 100.0	151 28.1	81 15.1	58 10.8	34 6.3	58 10.8	65 12.1	64 11.9	144 26.8	50 9.3	55 10.2
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 （24時間サービス）	52 100.0	15 28.8	6 11.5	9 17.3	6 11.5	9 17.3	7 13.5	5 9.6	15 28.8	7 13.5	4 7.7
	小規模多機能型居宅介護、 看護小規模多機能型居宅介護	51 100.0	10 19.6	4 7.8	5 9.8	8 15.7	10 19.6	10 19.6	6 11.8	12 23.5	7 13.7	7 13.7
	福祉用具のレンタル・購入	782 100.0	197 25.2	84 10.7	74 9.5	64 8.2	111 14.2	96 12.3	63 8.1	230 29.4	82 10.5	84 10.7
	住宅改修	357 100.0	99 27.7	41 11.5	33 9.2	27 7.6	52 14.6	39 10.9	31 8.7	103 28.9	35 9.8	39 10.9
	有料老人ホーム、グループホーム、 特別養護老人ホームなどに入居・入所	51 100.0	4 7.8	1 2.0	1 2.0	2 3.9	3 5.9	1 2.0	2 3.9	19 37.3	9 17.6	15 29.4

(4) 新型コロナウイルス感染症流行によるサービス利用への影響

問13 新型コロナウイルス感染症が流行していますが、感染が心配で介護サービスの利用を控えたりサービス内容を見直したことはありますか。(〇は1つ)

新型コロナウイルス感染症の感染への懸念による介護サービス利用への影響は、「以前と変わらずに利用している」の割合が69.8%で最も高く、次いで「介護サービスの利用を控えたが、今は利用を再開している」が6.8%、「介護サービスの利用を中断している」が2.1%となっている。

図表 2-2-8 新型コロナウイルス感染症流行によるサービス利用への影響



新型コロナウイルス感染症流行によるサービス利用への影響を要介護度別にみると、全ての要介護度で「以前と変わらずに利用している」の割合が最も高くなっており、要介護度による大きな差異はみられない。

図表2-2-9 新型コロナウイルス感染症流行によるサービス利用への影響（要介護度別）
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	以前と変わらずに 利用している	介護サービスの利用を 控えたが、今は利用を 再開している	介護サービスの利用内容を 変更した（デイサービスから 訪問サービスに変更など）	介護サービスの利用を 中断している	介護サービスの利用をやめた	その他	わからない	無回答	
全体	1,200 100.0	837 69.8	82 6.8	19 1.6	25 2.1	11 0.9	44 3.7	32 2.7	150 12.5	
要介護度	要介護1	410 100.0	286 69.8	32 7.8	5 1.2	9 2.2	1 0.2	15 3.7	13 3.2	49 12.0
	要介護2	333 100.0	231 69.4	24 7.2	5 1.5	10 3.0	-	12 3.6	7 2.1	44 13.2
	要介護3	183 100.0	127 69.4	15 8.2	3 1.6	4 2.2	2 1.1	6 3.3	4 2.2	22 12.0
	要介護4	123 100.0	88 71.5	7 5.7	3 2.4	1 0.8	3 2.4	3 2.4	3 2.4	15 12.2
	要介護5	94 100.0	68 72.3	1 1.1	3 3.2	1 1.1	3 3.2	6 6.4	2 2.1	10 10.6
	要支援1・2、 サービス事業対象者	25 100.0	16 64.0	1 4.0	-	-	2 8.0	1 4.0	-	5 20.0
	わからない	7 100.0	4 57.1	1 14.3	-	-	-	-	1 14.3	1 14.3
	無回答	25 100.0	17 68.0	1 4.0	-	-	-	1 4.0	2 8.0	4 16.0

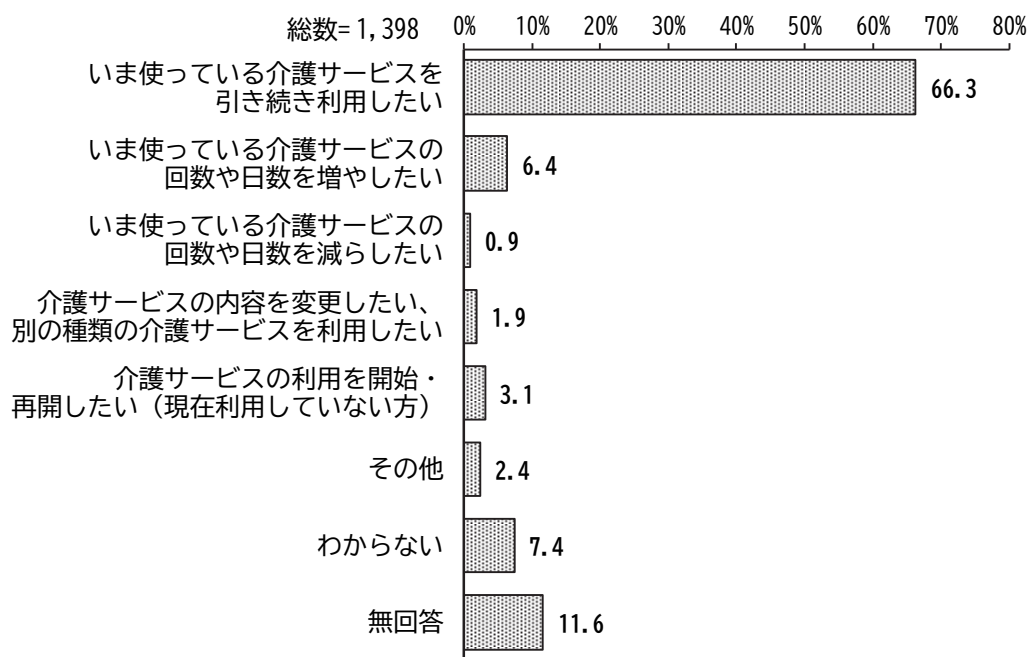
(5) 介護サービスの今後の利用意向

【全員におたずねします。】

問14 今後の介護サービスの利用について、あなたの考えを教えてください。(〇は1つ)

今後の介護サービスの利用は、「いま使っている介護サービスを引き続き利用したい」の割合が66.3%で最も高く、次いで「いま使っている介護サービスの回数や日数を増やしたい」が6.4%、「介護サービスの利用を開始・再開したい（現在利用していない方）」が3.1%となっている。

図表2-2-10 介護サービスの今後の利用意向

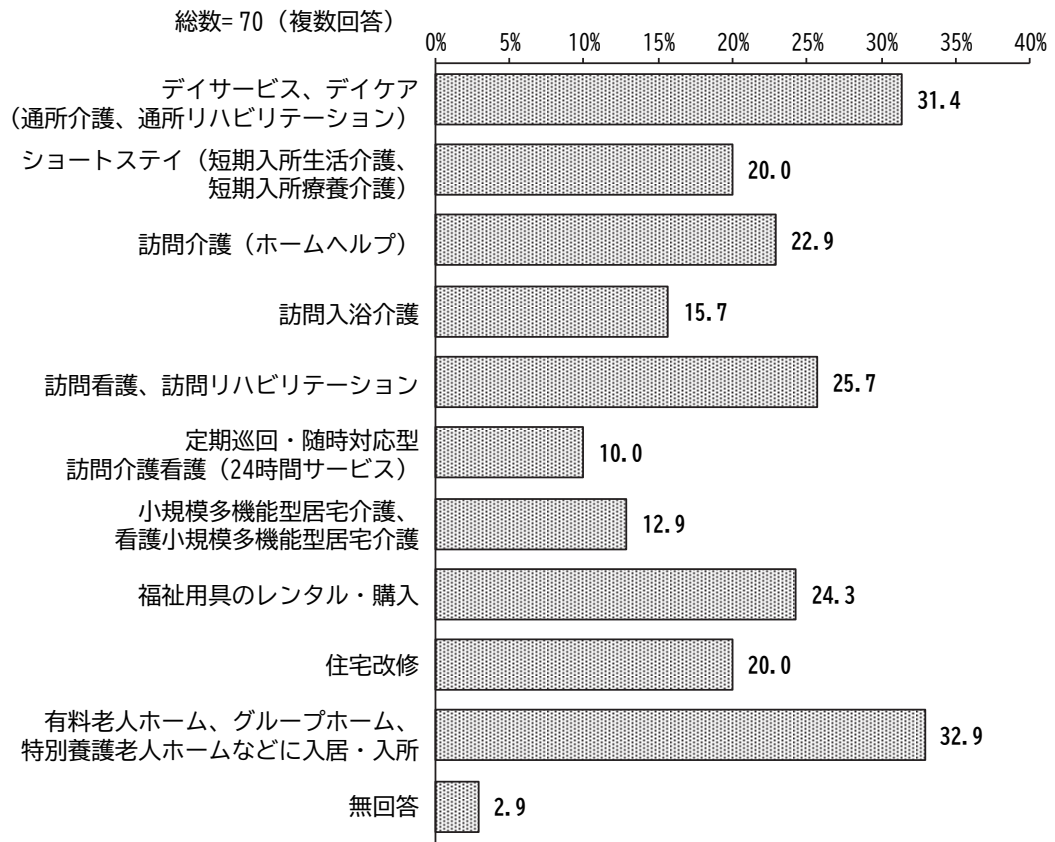


【問14で「4」「5」と回答した方におたずねします。】

問14-1 今後どのようなサービスを利用したいですか。(〇はいくつでも)

介護サービスの内容を変更したい、または介護サービスの利用を開始・再開したいと回答した人が今後利用したいサービスは、「有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなどに入居・入所」の割合が32.9%で最も高く、次いで「デイサービス、デイケア（通所介護、通所リハビリテーション）」が31.4%、「訪問看護、訪問リハビリテーション」が25.7%となっている。

図表2-2-11 今後利用したいサービス

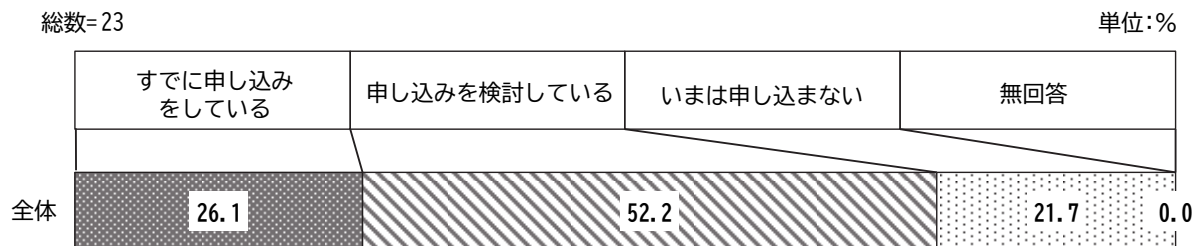


【問14-1で「10」（施設等へ入居・入所したい）と回答した方におたずねします。】

問14-2 入居・入所の申し込みはしていますか。（〇は1つ）

施設等への入居・入所の申込状況は、「申し込みを検討している」が52.2%で最も高く、次いで「すでに申し込みをしている」が26.1%、「いまは申し込まない」が21.7%となっている。

図表2-2-12 施設等への入居・入所の申込状況

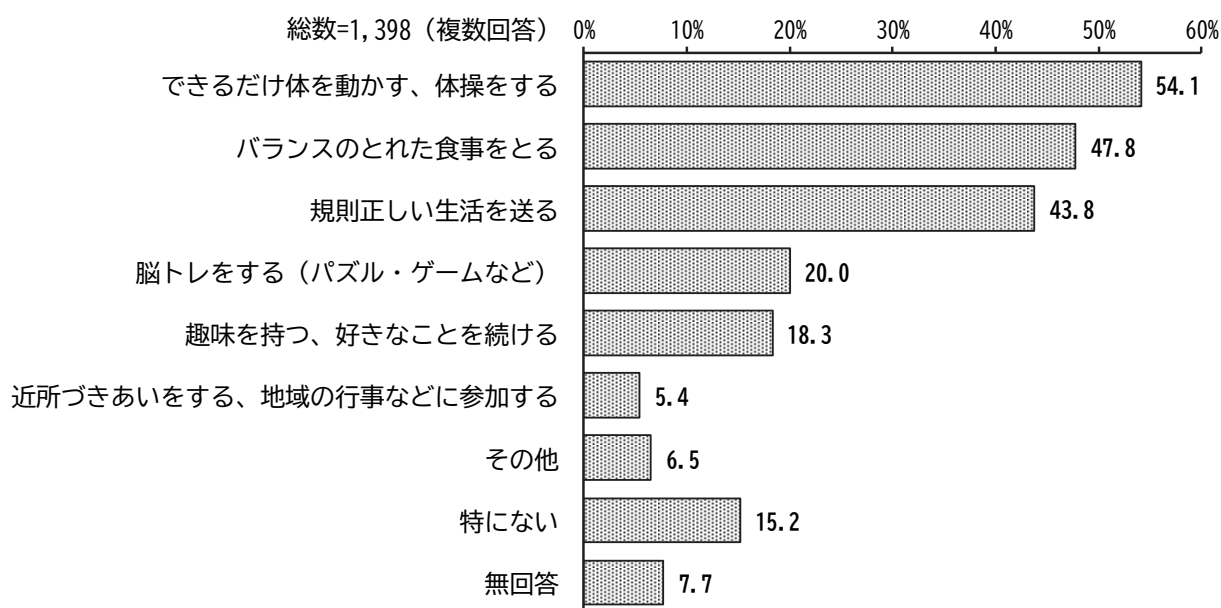


（6）要介護状態の改善や重度化防止のために実践していること

問15 要介護状態の改善や重度化防止のために実践していることはありますか。（〇はいくつでも）

要介護状態の改善や重度化防止のために実践していることは、「できるだけ体を動かす、体操をする」の割合が54.1%で最も高く、次いで「バランスのとれた食事をとる」が47.8%、「規則正しい生活を送る」が43.8%となっている。

図表2-2-13 要介護状態の改善や重度化防止のために実践していること

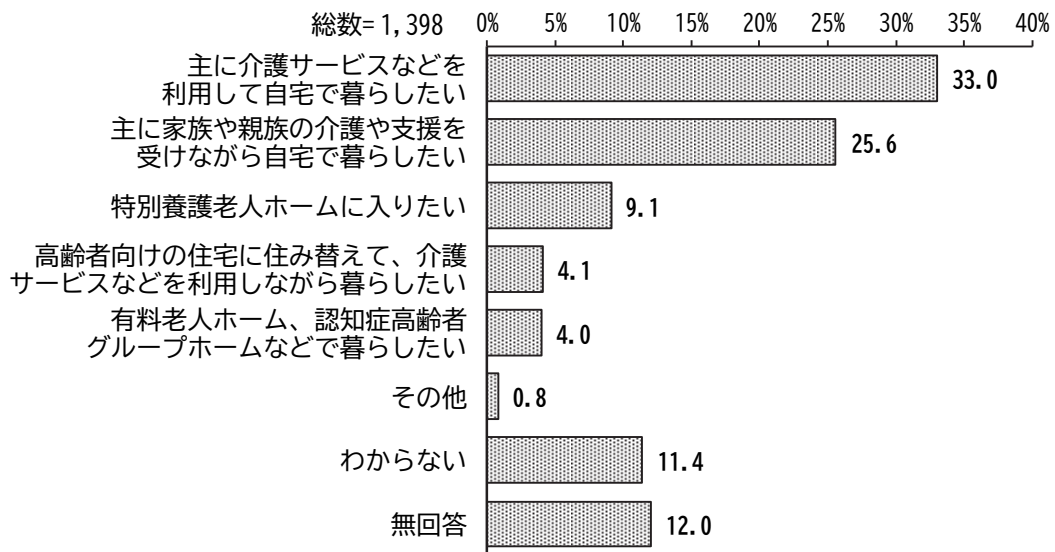


(7) 今後の暮らし方

問16 今後要介護度が重くなった場合、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい」の割合が33.0%で最も高く、次いで「主に家族や親族の介護や支援を受けながら自宅で暮らしたい」が25.6%、「わからない」が11.4%となっている。

図表2-2-14 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方



要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方を性別・年齢階級別にみると、ほとんどの階級で「主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい」の割合が最も高い。また、「主に家族や親族の介護や支援を受けながら自宅で暮らしたい」では、男性・女性とも「65～69歳」では30%台だが、「70～74歳」で10%台となり、「75～79歳」以降の年齢階級で再び割合が高くなる傾向が見られる。

図表2-2-15 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方（性別・年齢階級別）
（上段：回答数、下段：構成比）

	全体	主に家族や親族の介護や支援を受けながら自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用して暮らしたい	有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答
全体	1,398	358	461	58	56	127	11	159	168
	100.0	25.6	33.0	4.1	4.0	9.1	0.8	11.4	12.0
性別・年齢階級									
男性全体	502	121	174	16	19	50	4	56	62
	100.0	24.1	34.7	3.2	3.8	10.0	0.8	11.2	12.4
64歳以下	22	5	9	1	-	1	-	5	1
	100.0	22.7	40.9	4.5	-	4.5	-	22.7	4.5
65～69歳	30	10	8	2	1	4	-	2	3
	100.0	33.3	26.7	6.7	3.3	13.3	-	6.7	10.0
70～74歳	46	9	16	2	2	5	1	4	7
	100.0	19.6	34.8	4.3	4.3	10.9	2.2	8.7	15.2
75～79歳	72	18	27	3	4	5	1	8	6
	100.0	25.0	37.5	4.2	5.6	6.9	1.4	11.1	8.3
80～84歳	110	21	32	4	6	15	1	13	18
	100.0	19.1	29.1	3.6	5.5	13.6	0.9	11.8	16.4
85～89歳	127	24	46	4	4	15	-	14	20
	100.0	18.9	36.2	3.1	3.1	11.8	-	11.0	15.7
90歳以上	93	33	35	-	2	5	1	10	7
	100.0	35.5	37.6	-	2.2	5.4	1.1	10.8	7.5
女性全体	882	231	283	41	37	77	7	103	103
	100.0	26.2	32.1	4.6	4.2	8.7	0.8	11.7	11.7
64歳以下	19	7	2	1	-	3	-	5	1
	100.0	36.8	10.5	5.3	-	15.8	-	26.3	5.3
65～69歳	22	7	9	1	-	1	-	1	3
	100.0	31.8	40.9	4.5	-	4.5	-	4.5	13.6
70～74歳	55	10	25	5	3	5	-	1	6
	100.0	18.2	45.5	9.1	5.5	9.1	-	1.8	10.9
75～79歳	107	22	31	8	2	11	1	13	19
	100.0	20.6	29.0	7.5	1.9	10.3	0.9	12.1	17.8
80～84歳	146	35	51	11	7	12	-	13	17
	100.0	24.0	34.9	7.5	4.8	8.2	-	8.9	11.6
85～89歳	233	60	77	10	17	17	3	27	22
	100.0	25.8	33.0	4.3	7.3	7.3	1.3	11.6	9.4
90歳以上	298	88	88	5	8	28	3	43	35
	100.0	29.5	29.5	1.7	2.7	9.4	1.0	14.4	11.7
無回答	14	6	4	1	-	-	-	-	3
	100.0	42.9	28.6	7.1	-	-	-	-	21.4

要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方を家族構成別にみると、「ひとり暮らし」、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」では「主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい」の割合が最も高く、「夫婦のみ（配偶者は64歳）以下」、「息子・娘と同居（息子・娘は65歳以上）」、「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」では「主に家族や親族の介護や支援を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が最も高くなっている。

要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて『自宅で暮らしたい』の割合が低くなり、「特別養護老人ホームに入りたい」の割合が高くなる傾向が見られる。

図表2-2-16 要介護度が重くなった場合に希望する暮らし方（家族構成別、要介護度別）
（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	主に家族や親族の介護や支援を受けながら自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用して暮らしたい	有料老人ホーム、認知症高齢者グループホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答
全体		1,398 100.0	358 25.6	461 33.0	58 4.1	56 4.0	127 9.1	11 0.8	159 11.4	168 12.0
家族構成	ひとり暮らし	360 100.0	68 18.9	141 39.2	23 6.4	22 6.1	24 6.7	5 1.4	34 9.4	43 11.9
	夫婦のみ （配偶者は65歳以上）	340 100.0	76 22.4	116 34.1	17 5.0	10 2.9	32 9.4	3 0.9	38 11.2	48 14.1
	夫婦のみ （配偶者は64歳以下）	15 100.0	4 26.7	2 13.3	2 13.3	3 20.0	1 6.7	-	2 13.3	1 6.7
	息子・娘と同居 （息子・娘は65歳以上）	110 100.0	36 32.7	31 28.2	1 0.9	1 0.9	18 16.4	-	12 10.9	11 10.0
	息子・娘と同居 （息子・娘は64歳以下）	395 100.0	127 32.2	124 31.4	10 2.5	11 2.8	41 10.4	1 0.3	49 12.4	32 8.1
	その他	135 100.0	37 27.4	40 29.6	4 3.0	8 5.9	9 6.7	2 1.5	19 14.1	16 11.9
	無回答	43 100.0	10 23.3	7 16.3	1 2.3	1 2.3	2 4.7	-	5 11.6	17 39.5
要介護度	要介護1	492 100.0	132 26.8	179 36.4	22 4.5	19 3.9	33 6.7	1 0.2	55 11.2	51 10.4
	要介護2	364 100.0	96 26.4	122 33.5	21 5.8	17 4.7	31 8.5	4 1.1	33 9.1	40 11.0
	要介護3	191 100.0	52 27.2	64 33.5	3 1.6	10 5.2	24 12.6	2 1.0	17 8.9	19 9.9
	要介護4	134 100.0	34 25.4	40 29.9	4 3.0	5 3.7	22 16.4	1 0.7	18 13.4	10 7.5
	要介護5	113 100.0	25 22.1	31 27.4	2 1.8	2 1.8	14 12.4	2 1.8	22 19.5	15 13.3
	要支援1・2、 サービス事業対象者	30 100.0	5 16.7	9 30.0	3 10.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0	4 13.3	7 23.3
	わからない	23 100.0	3 13.0	4 17.4	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	6 26.1	9 39.1
	無回答	51 100.0	11 21.6	12 23.5	3 5.9	1 2.0	2 3.9	1 2.0	4 7.8	17 33.3

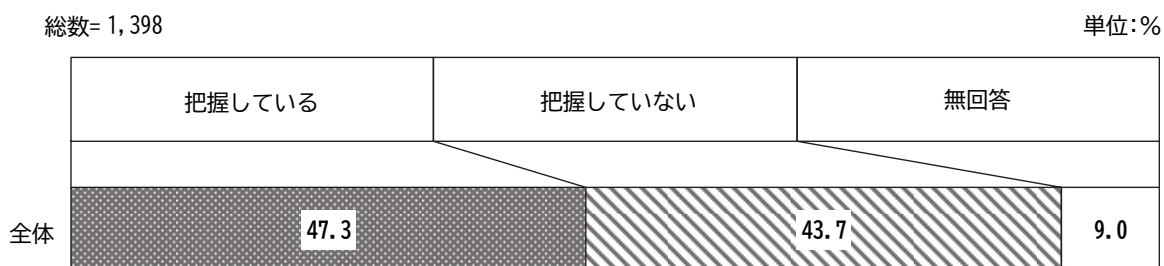
3 介護保険制度や保険料、利用料について

(1) 介護保険料の負担感など

問17 あなたはご自分が負担している介護保険料の金額を把握していますか。(○は1つ)

自身が負担する介護保険料の金額は、「把握している」の割合が47.3%、「把握していない」が43.7%となっている。

図表2-3-1 介護保険料の把握状況

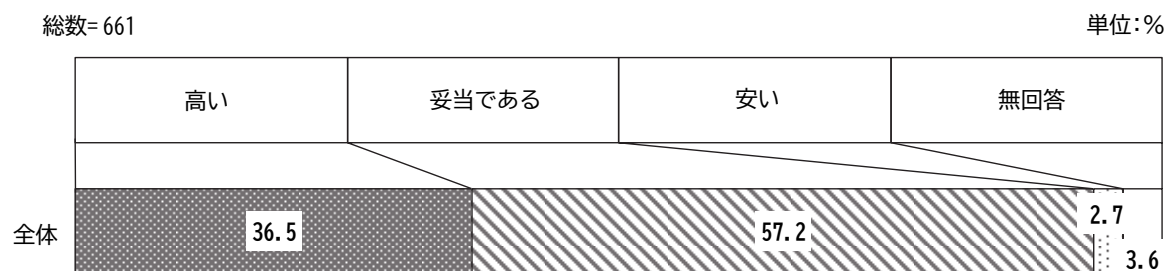


【問17で「1. 把握している」と回答した方におたずねします。】

問17-1 介護保険料について、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

介護保険料についての考えは、「妥当である」の割合が57.2%で最も高く、次いで「高い」が36.5%、「安い」が2.7%となっている。

図表2-3-2 介護保険料の負担感



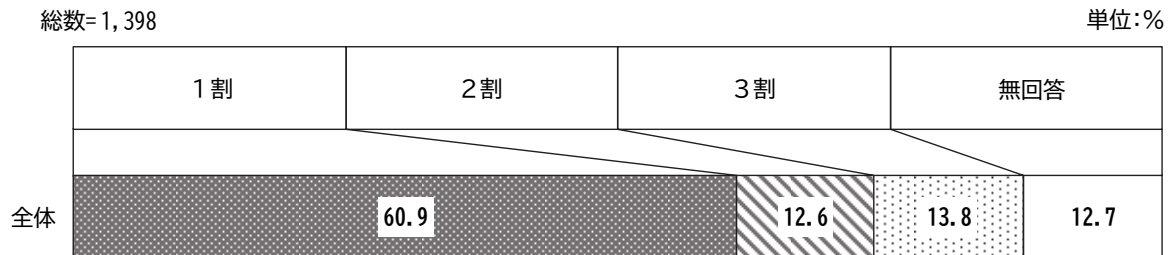
(2) 介護サービスの利用者負担割合

問18 あなたの介護サービスの利用者負担割合は、どれに該当しますか。(○は1つ)

※令和4年7月にお送りしている介護保険負担割合証(ピンク色)をご覧ください。

介護サービスの利用者負担割合は、「1割」の割合が60.9%で最も高く、次いで、「3割」が13.8%、「2割」が12.6%となっている。

図表2-3-3 介護サービスの利用者負担割合



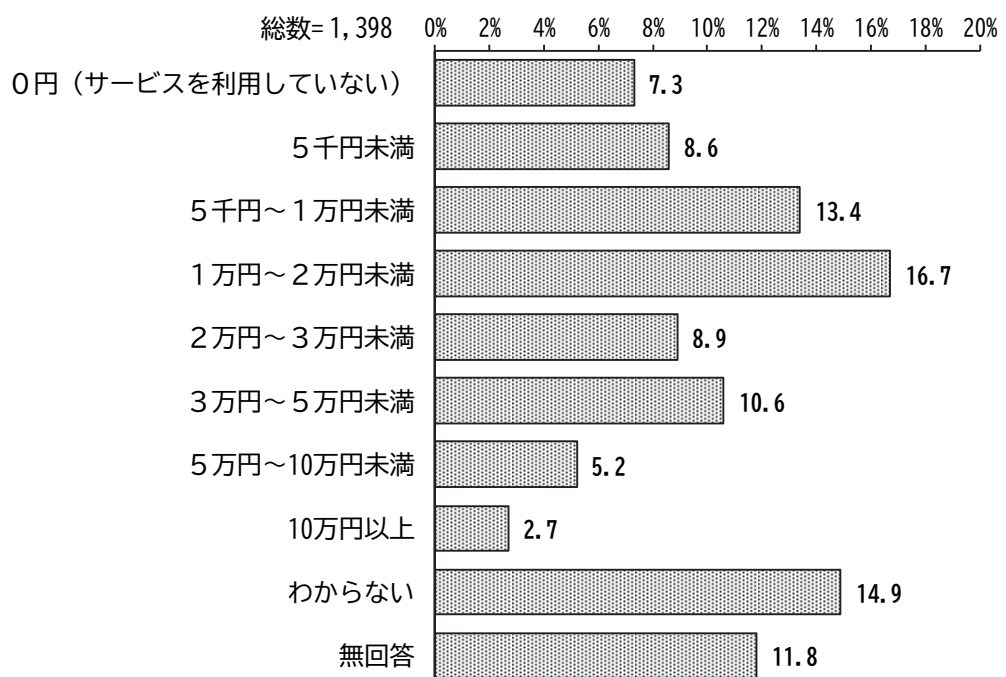
(3) 介護サービス利用料

問19 あなたの1か月の介護サービスの利用料はいくらでしたか。(○は1つ)

※令和4年9月にお支払いになった、おおよその金額を回答してください。

1か月あたりの介護サービス利用料は、「1万円～2万円未満」の割合が16.7%で最も高く、次いで「わからない」が14.9%、「5千円～1万円未満」が13.4%となっている。

図表2-3-4 1か月あたりの介護サービス利用料



1か月あたりの介護サービス利用料を要介護度別にみると、「要介護1」、「要介護2」、「要介護3」では「1万円～2万円未満」の割合が最も高く、「要介護4」、「要介護5」では「3万円～5万円未満」が最も高い。（「わからない」を除いて比較）

図表2-3-5 1か月あたりの介護サービス利用料（要介護度別）

（上段：回答数、下段：構成比）

		全体	(サービスを利用していない) 0円	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円以上	わからない	無回答
全体		1,398 100.0	102 7.3	120 8.6	187 13.4	233 16.7	124 8.9	148 10.6	72 5.2	38 2.7	209 14.9	165 11.8
要介護度	要介護1	492 100.0	49 10.0	58 11.8	92 18.7	93 18.9	34 6.9	32 6.5	7 1.4	1 0.2	61 12.4	65 13.2
	要介護2	364 100.0	21 5.8	30 8.2	53 14.6	80 22.0	38 10.4	38 10.4	11 3.0	4 1.1	53 14.6	36 9.9
	要介護3	191 100.0	8 4.2	18 9.4	15 7.9	28 14.7	22 11.5	25 13.1	17 8.9	10 5.2	37 19.4	11 5.8
	要介護4	134 100.0	5 3.7	4 3.0	10 7.5	15 11.2	15 11.2	27 20.1	23 17.2	6 4.5	18 13.4	11 8.2
	要介護5	113 100.0	9 8.0	3 2.7	2 1.8	4 3.5	11 9.7	24 21.2	13 11.5	15 13.3	22 19.5	10 8.8
	要支援1・2、 サービス事業対象者	30 100.0	4 13.3	2 6.7	6 20.0	6 20.0	-	-	-	-	5 16.7	7 23.3
	わからない	23 100.0	3 13.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3	-	1 4.3	-	-	6 26.1	10 43.5
	無回答	51 100.0	3 5.9	4 7.8	8 15.7	6 11.8	4 7.8	1 2.0	1 2.0	2 3.9	7 13.7	15 29.4

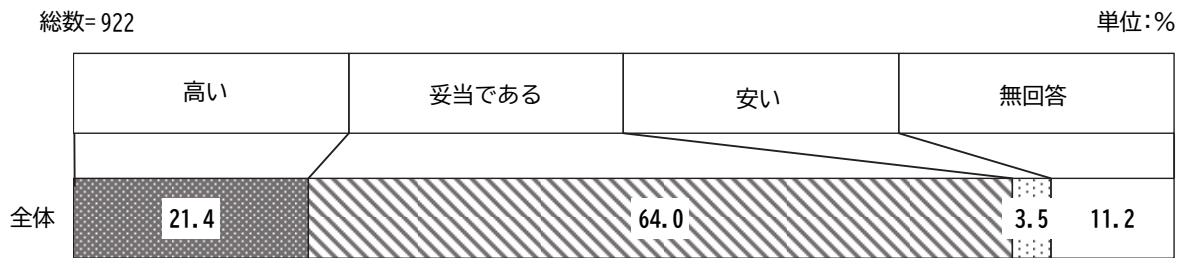
(4) 介護サービスの利用料の負担感

【問19で「2」～「8」と回答した方におたずねします。】

問19-1 介護サービスの利用料について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

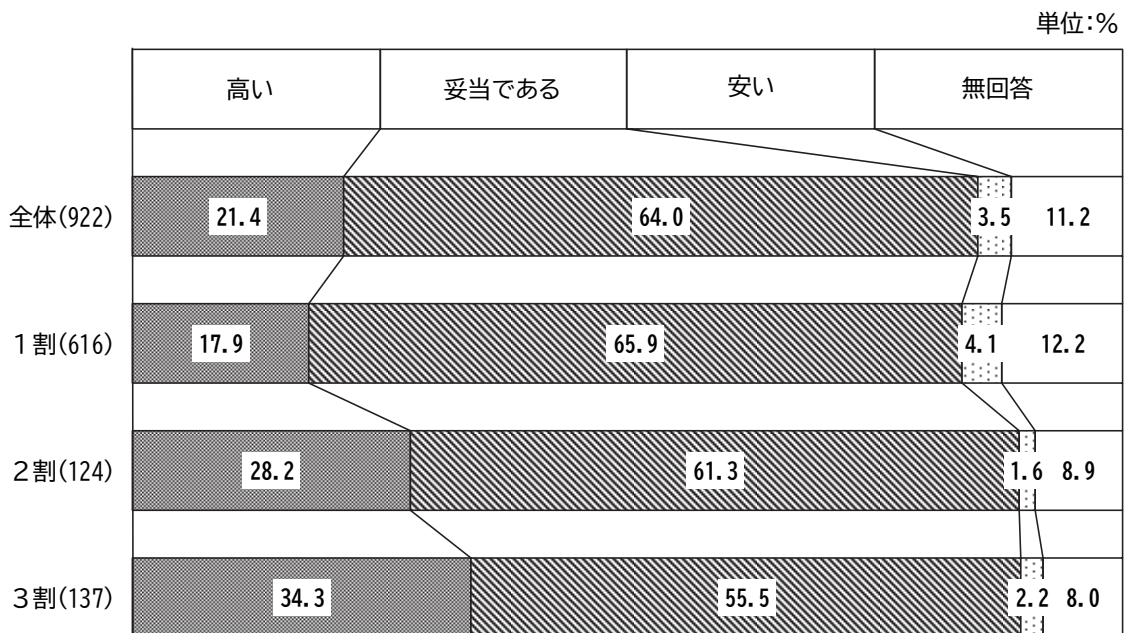
介護サービス利用料の負担感は、「妥当である」の割合が64.0%で最も高く、次いで「高い」が21.4%、「安い」が3.5%となっている。

図表2-3-6 介護サービス利用料の負担感



介護サービス利用料の負担感を利用者負担割合別にみると、負担割合が高くなるにつれて「高い」の割合が高くなり、「妥当である」の割合が低くなっている。

図表2-3-7 介護サービス利用料の負担感（利用者負担割合別）



介護サービス利用料の負担感を介護サービス利用料別にみると、すべての利用料区分で「妥当である」が最も高い割合となっているが、利用料区分が高くなるにつれて割合が低くなる傾向が見られる。一方で、利用料区分が高くなるにつれて「高い」の割合が高くなる。

図表 2-3-8 介護サービス利用料の負担感（介護サービス利用料別）
（上段：回答数、下段：構成比）

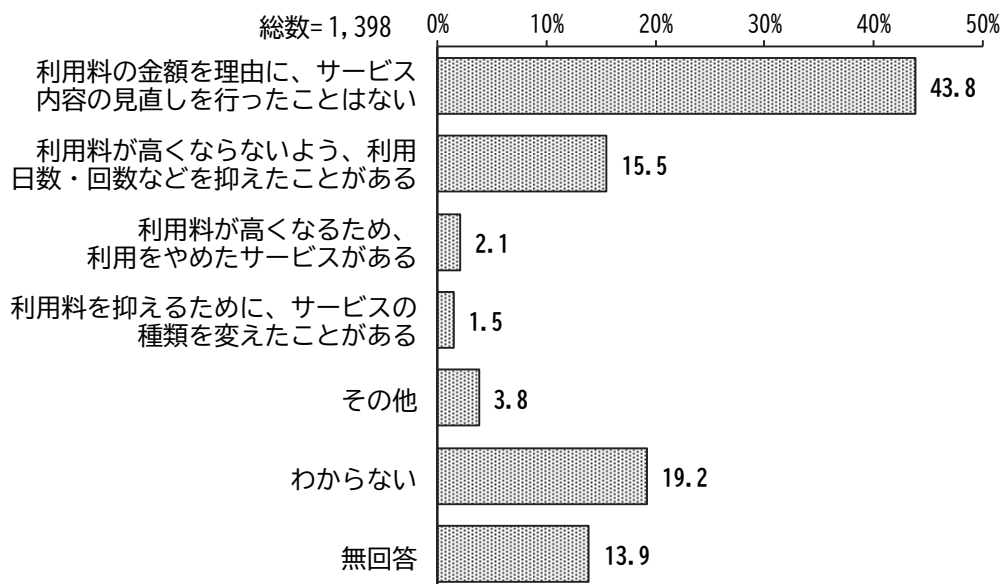
		全体	高い	妥当である	安い	無回答
全体		922 100.0	197 21.4	590 64.0	32 3.5	103 11.2
介護サービス利用料	5千円未満	120 100.0	9 7.5	85 70.8	13 10.8	13 10.8
	5千円～1万円未満	187 100.0	25 13.4	128 68.4	7 3.7	27 14.4
	1万円～2万円未満	233 100.0	34 14.6	152 65.2	11 4.7	36 15.5
	2万円～3万円未満	124 100.0	37 29.8	83 66.9	1 0.8	3 2.4
	3万円～5万円未満	148 100.0	47 31.8	85 57.4	-	16 10.8
	5万円～10万円未満	72 100.0	27 37.5	38 52.8	-	7 9.7
	10万円以上	38 100.0	18 47.4	19 50.0	-	1 2.6

(5) 利用料の金額がサービス利用に与える影響

問20 あなたは、介護サービスの利用内容や回数を決めるときに、利用料の金額を考慮したことはありますか。(〇は1つ)

利用料の金額がサービス利用に与える影響は、「利用料の金額を理由に、サービス内容の見直しを行ったことはない」の割合が43.8%で最も高く、次いで「利用料が高くないよう、利用日数・回数などを抑えたことがある」が15.5%、「利用料が高くなるため、利用をやめたサービスがある」が2.1%となっている。

図表2-3-9 利用料の金額がサービス利用に与える影響



利用料の金額がサービス利用に与える影響を利用者負担割合別、サービス利用料別にみると、全ての区分で「利用料の金額を理由に、サービス内容の見直しを行ったことはない」の割合が最も高くなっている。

「利用料が高くなならないよう、利用日数・回数などを抑えたことがある」では、利用者負担割合別にみると、各負担割合とも10%台となっている。また、サービス利用料別にみると「1万円～2万円未満」が12.9%で最も低く、「3万円～5万円未満」が25.7%で最も高い。（「0円（サービスを利用していない）」、「わからない」を除いて比較）

図表2-3-10 利用料の額がサービス利用に与える影響

（利用者負担割合別、介護サービス利用料別）

（上段：回答数、下段：構成比）

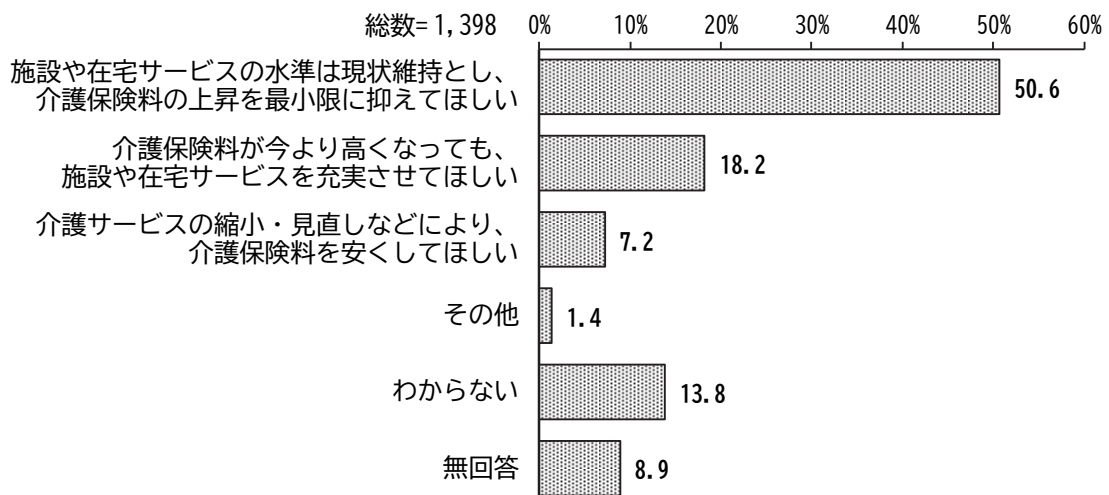
	全体	利用料の金額を理由に、サービス内容の見直しを行ったことはない	利用日数・回数などを抑えたことがある	利用料が高くなならないよう、利用日数・回数などを抑えたことがある	利用料が高くなるため、利用をやめたサービスがある	利用料を抑えるために、サービスの種類を変えた	その他	わからない	無回答
全体	1,398 100.0	613 43.8	217 15.5	30 2.1	21 1.5	53 3.8	269 19.2	195 13.9	
利用者負担割合	1割	851 100.0	400 47.0	154 18.1	16 1.9	17 2.0	36 4.2	175 20.6	53 6.2
	2割	176 100.0	85 48.3	26 14.8	6 3.4	1 0.6	8 4.5	31 17.6	19 10.8
	3割	193 100.0	98 50.8	30 15.5	7 3.6	2 1.0	7 3.6	31 16.1	18 9.3
	無回答	178 100.0	30 16.9	7 3.9	1 0.6	1 0.6	2 1.1	32 18.0	105 59.0
介護サービス利用料	0円 (サービスを利用していない)	102 100.0	22 21.6	3 2.9	1 1.0	1 1.0	13 12.7	42 41.2	20 19.6
	5千円未満	120 100.0	64 53.3	19 15.8	2 1.7	2 1.7	2 1.7	21 17.5	10 8.3
	5千円～1万円未満	187 100.0	89 47.6	47 25.1	2 1.1	1 0.5	5 2.7	30 16.0	13 7.0
	1万円～2万円未満	233 100.0	154 66.1	30 12.9	6 2.6	3 1.3	6 2.6	24 10.3	10 4.3
	2万円～3万円未満	124 100.0	77 62.1	25 20.2	5 4.0	2 1.6	2 1.6	10 8.1	3 2.4
	3万円～5万円未満	148 100.0	74 50.0	38 25.7	7 4.7	2 1.4	4 2.7	16 10.8	7 4.7
	5万円～10万円未満	72 100.0	35 48.6	16 22.2	4 5.6	2 2.8	4 5.6	7 9.7	4 5.6
	10万円以上	38 100.0	15 39.5	9 23.7	-	2 5.3	2 5.3	7 18.4	3 7.9
	わからない	209 100.0	65 31.1	23 11.0	3 1.4	4 1.9	9 4.3	98 46.9	7 3.3
	無回答	165 100.0	18 10.9	7 4.2	-	2 1.2	6 3.6	14 8.5	118 71.5

(6) 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

問21 今後、高齢化が進み介護サービスを利用する方が多くなると介護保険料が高くなるのが想定されますが、介護サービスと介護保険料の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

介護サービスと介護保険料の関係についての考えは、「施設や在宅サービスの水準は現状維持とし、介護保険料の上昇を最小限に抑えてほしい」の割合が50.6%で最も高く、次いで「介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」が18.2%、「わからない」が13.8%となっている。

図表2-3-11 介護サービスと介護保険料の関係についての考え



介護サービスと介護保険料の関係についての考えを利用者負担割合別にみると、「施設や在宅サービスの水準は現状維持とし、介護保険料の上昇を最小限に抑えてほしい」の割合が全ての利用者負担割合で50%前後となっており、利用者負担割合による大きな差異はみられない。

また、「介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」の割合は、利用者負担割合「2割」、「3割」が「1割」よりも7ポイント程度高くなっている。

図表2-3-12 介護サービスと介護保険料の関係についての考え（利用者負担割合別）
（上段：回答数、下段：構成比）

		介護保険料が今より高く なっても、施設や在宅 サービスを充実させてほしい	施設や在宅サービスの水準は 現状維持とし、介護保険料の 上昇を最小限に抑えてほしい	介護サービスの縮小・見直し などにより、介護保険料を 安くしてほしい	その他	わからない	無回答
	全体	1,398 100.0	254 18.2	707 50.6	100 7.2	20 1.4	193 13.8
利用者負担割合	1割	851 100.0	149 17.5	477 56.1	62 7.3	15 1.8	125 14.7
	2割	176 100.0	43 24.4	83 47.2	17 9.7	4 2.3	23 13.1
	3割	193 100.0	48 24.9	101 52.3	13 6.7	1 0.5	18 9.3
	無回答	178 100.0	14 7.9	46 25.8	8 4.5	-	27 15.2

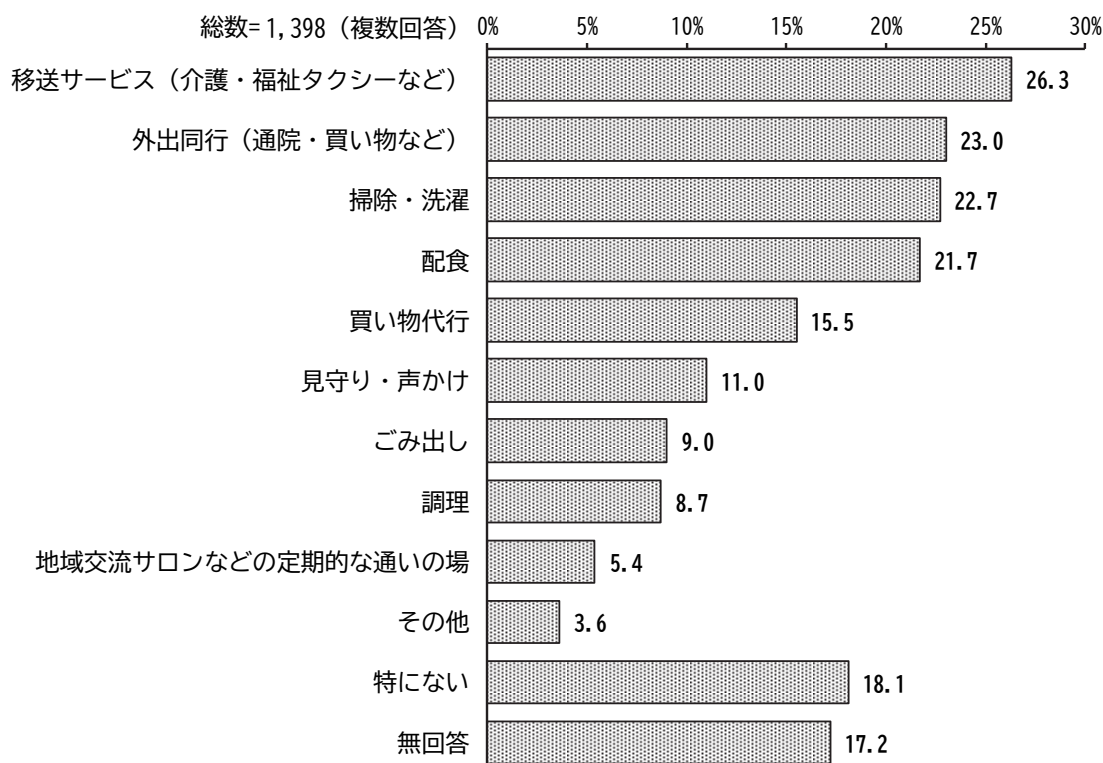
4 介護保険以外の高齢者在宅サービスなどについて

(1) 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス

問22 あなたは、自宅での生活を続けるためには、介護サービス以外に主にどのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」の割合が26.3%で最も高く、次いで「外出同行（通院・買い物など）」が23.0%、「掃除・洗濯」が22.7%となっている。

図表2-4-1 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス



自宅での生活を続けるために必要な支援・サービスを家族構成別にみると、「ひとり暮らし」では「掃除・洗濯」、「外出同行」、「配食」などを必要とする割合が高く、『夫婦のみ』、『息子・娘と同居』では「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」の割合が最も高くなっている。

図表 2-4-2 自宅での生活を続けるために必要な支援・サービス（家族構成別）
（上段：回答数、下段：構成比）

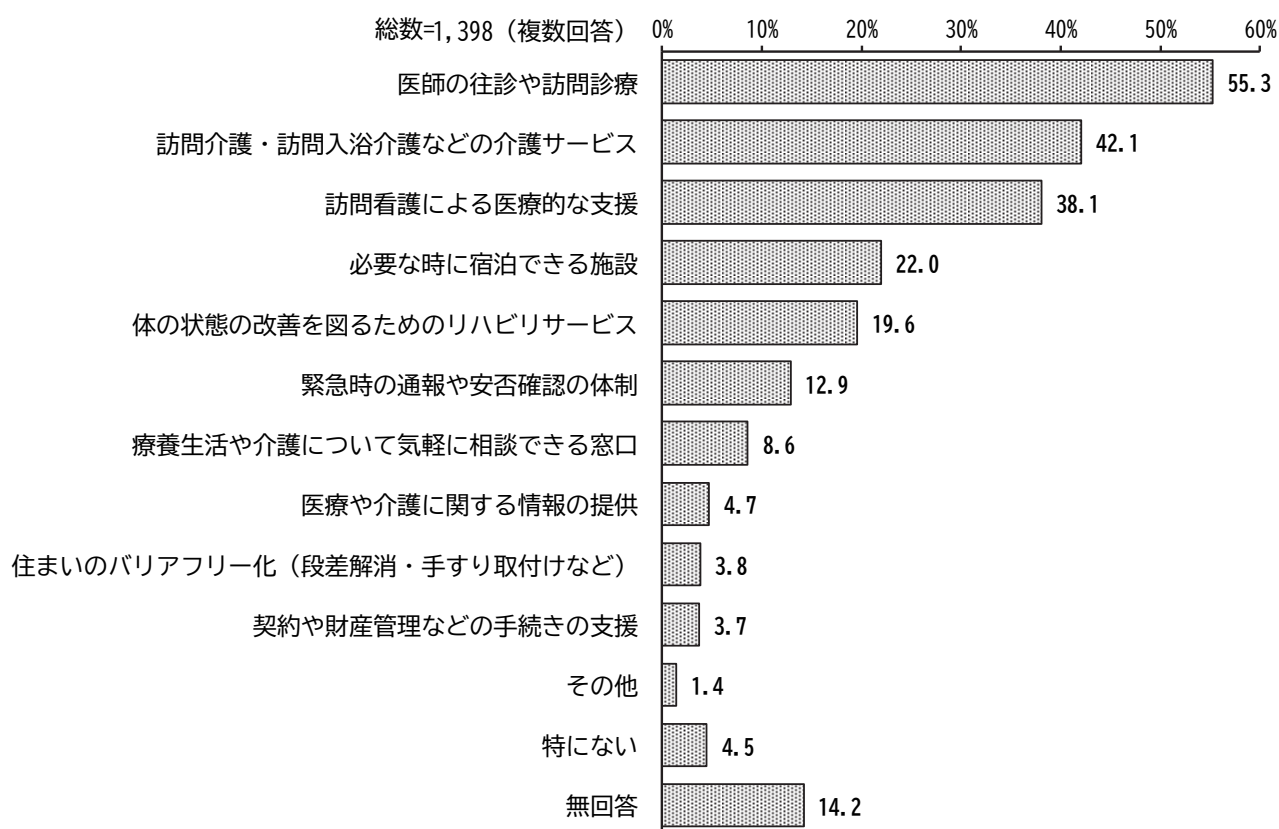
		全体	配食	調理	掃除・洗濯	買い物代行	ごみ出し	(通院・外出同行 買い物など)	(介護・福祉 移送サービス タクシー など)	見守り・声かけ	地域交流サロンなどの 定期的な通いの場	その他	特にない	無回答
全体		1,398 100.0	304 21.7	122 8.7	317 22.7	216 15.5	126 9.0	322 23.0	367 26.3	154 11.0	76 5.4	51 3.6	253 18.1	241 17.2
家族 構成	ひとり暮らし	360 100.0	78 21.7	26 7.2	88 24.4	67 18.6	52 14.4	87 24.2	68 18.9	49 13.6	31 8.6	13 3.6	55 15.3	65 18.1
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	340 100.0	73 21.5	29 8.5	85 25.0	56 16.5	31 9.1	80 23.5	105 30.9	26 7.6	14 4.1	11 3.2	56 16.5	62 18.2
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	15 100.0	2 13.3	-	2 13.3	1 6.7	-	3 20.0	6 40.0	2 13.3	-	1 6.7	4 26.7	2 13.3
	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	110 100.0	22 20.0	13 11.8	26 23.6	16 14.5	8 7.3	16 14.5	26 23.6	17 15.5	4 3.6	5 4.5	19 17.3	17 15.5
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	395 100.0	88 22.3	38 9.6	79 20.0	49 12.4	22 5.6	104 26.3	119 30.1	42 10.6	19 4.8	16 4.1	85 21.5	56 14.2
	その他	135 100.0	31 23.0	12 8.9	32 23.7	23 17.0	13 9.6	26 19.3	38 28.1	15 11.1	4 3.0	5 3.7	23 17.0	24 17.8
	無回答	43 100.0	10 23.3	4 9.3	5 11.6	4 9.3	-	6 14.0	5 11.6	3 7.0	4 9.3	-	11 25.6	15 34.9

(2) 在宅療養のために必要だと思うサービス・体制

問23 あなたは、要介護度が重くなったり病気の後遺症などにより長期間の療養が必要になったときに、自宅で生活をするためには、主にどのようなサービスや体制が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

在宅療養のために必要なサービス・体制は、「医師の往診や訪問診療」の割合が55.3%で最も高く、次いで「訪問介護・訪問入浴介護などの介護サービス」が42.1%、「訪問看護による医療的な支援」が38.1%となっている。

図表2-4-3 在宅療養のために必要だと思うサービス・体制

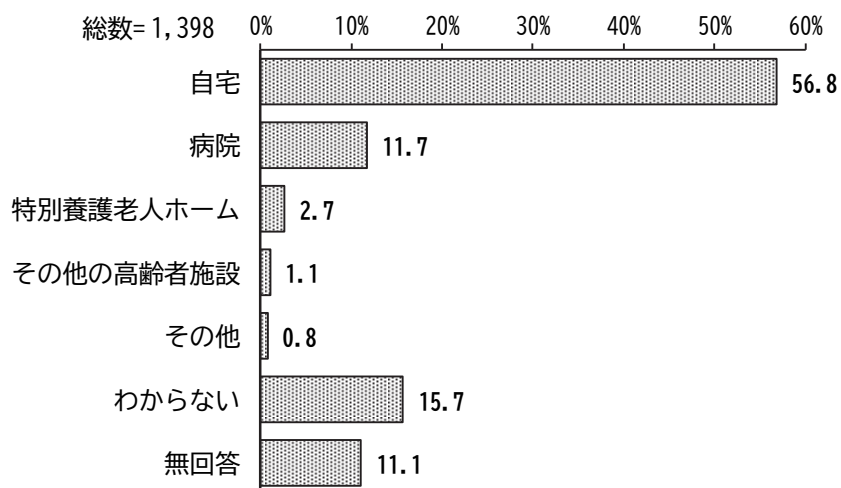


(3) 人生の最期を迎えたい場所

問24 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(〇は1つ)

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」の割合が56.8%で最も高く、次いで「わからない」が15.7%、「病院」が11.7%となっている。

図表2-4-4 人生の最期を迎えたい場所



人生の最期を迎えたい場所を家族構成別にみると、すべての家族構成で「自宅」の割合が最も高いが、『息子・娘と同居』の方が「ひとり暮らし」、『夫婦のみ』よりも高い割合となっている。一方で、「病院」は「ひとり暮らし」、『夫婦のみ』の方が『息子・娘と同居』よりも高い割合となっている。

図表2-4-5 人生の最期を迎えたい場所（家族構成別）

(上段：回答数、下段：構成比)

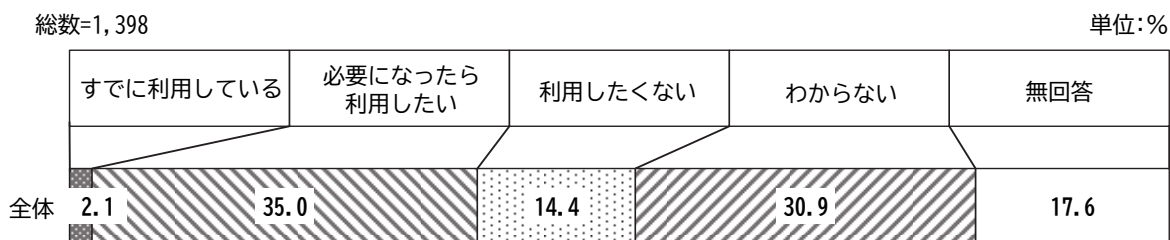
		全体	自宅	病院	特別養護老人ホーム	その他の高齢者施設	その他	わからない	無回答
全体		1,398 100.0	794 56.8	164 11.7	38 2.7	16 1.1	11 0.8	220 15.7	155 11.1
家族構成	ひとり暮らし	360 100.0	189 52.5	58 16.1	8 2.2	5 1.4	5 1.4	51 14.2	44 12.2
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	340 100.0	189 55.6	38 11.2	15 4.4	3 0.9	-	55 16.2	40 11.8
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	15 100.0	8 53.3	2 13.3	-	1 6.7	-	3 20.0	1 6.7
	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	110 100.0	67 60.9	6 5.5	3 2.7	1 0.9	-	21 19.1	12 10.9
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	395 100.0	256 64.8	36 9.1	7 1.8	5 1.3	4 1.0	57 14.4	30 7.6
	その他	135 100.0	64 47.4	17 12.6	3 2.2	1 0.7	1 0.7	27 20.0	22 16.3
	無回答	43 100.0	21 48.8	7 16.3	2 4.7	-	1 2.3	6 14.0	6 14.0

(4) 成年後見制度の利用意向

問25 認知症などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見」という制度があります。あなたやご家族が、判断能力が十分でなくなってきたときに「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(〇は1つ)

成年後見制度の利用意向は、「必要になったら利用したい」の割合が35.0%で最も高く、次いで「わからない」が30.9%、「利用したくない」が14.4%となっている。

図表2-4-6 成年後見制度の利用意向

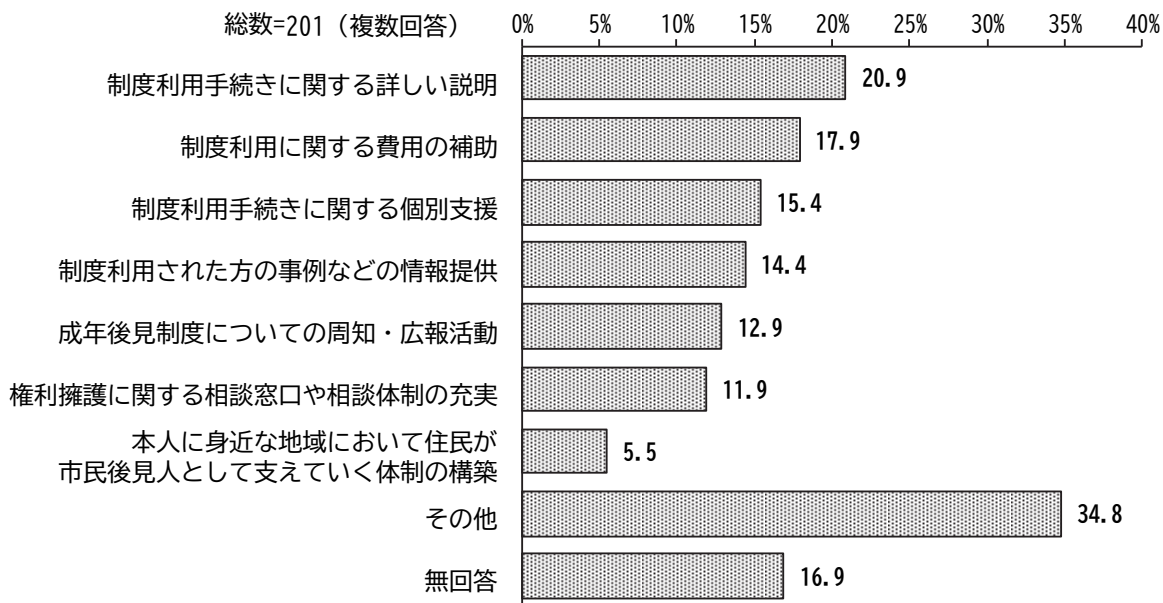


【問25で「3. 利用したくない」と回答した方におたずねします。】

問25-1 どのような支援があったら、成年後見制度を利用したいと思いませんか。(〇はいくつでも)

成年後見制度を利用したいと思える支援は、「制度利用手続きに関する詳しい説明」の割合が20.9%で最も高く、次いで「制度利用に関する費用の補助」が17.9%、「制度利用手続きに関する個別支援」が15.4%となっている。

図表2-4-7 成年後見制度を利用したいと思える支援

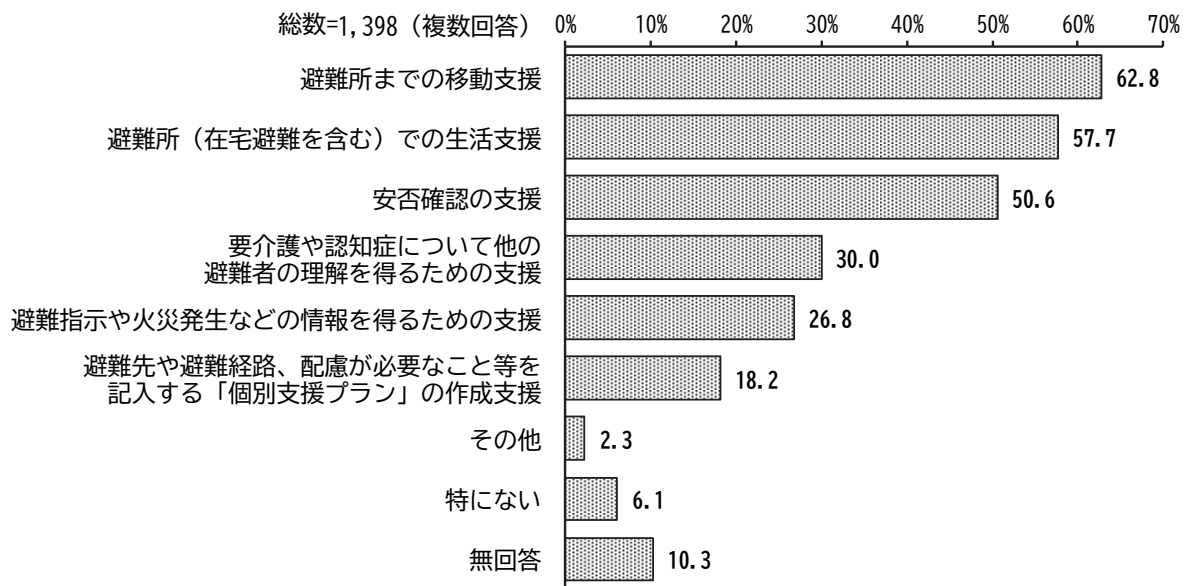


5 災害時の対策について

問26 災害（地震、風水害等）が発生した時や事前の備えに、どのような支援が必要と
 思いますか。（〇はいくつでも）

災害発生時や事前の備えに必要な支援は、「避難所までの移動支援」の割合が62.8%で最も高く、次いで「避難所（在宅避難を含む）での生活支援」が57.7%、「安否確認の支援」が50.6%となっている。

図表2-5-1 災害発生時や事前の備えに必要な支援



災害発生時や事前の備えに必要な支援を家族構成別にみると、全体的に「ひとり暮らし」、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の割合が他の家族構成よりも高い傾向が見られるが、特に「安否確認の支援」は10ポイント以上高くなっている。

図表 2-5-2 災害発生時や事前の備えに必要な支援（家族構成別）
（上段：回答数、下段：構成比）

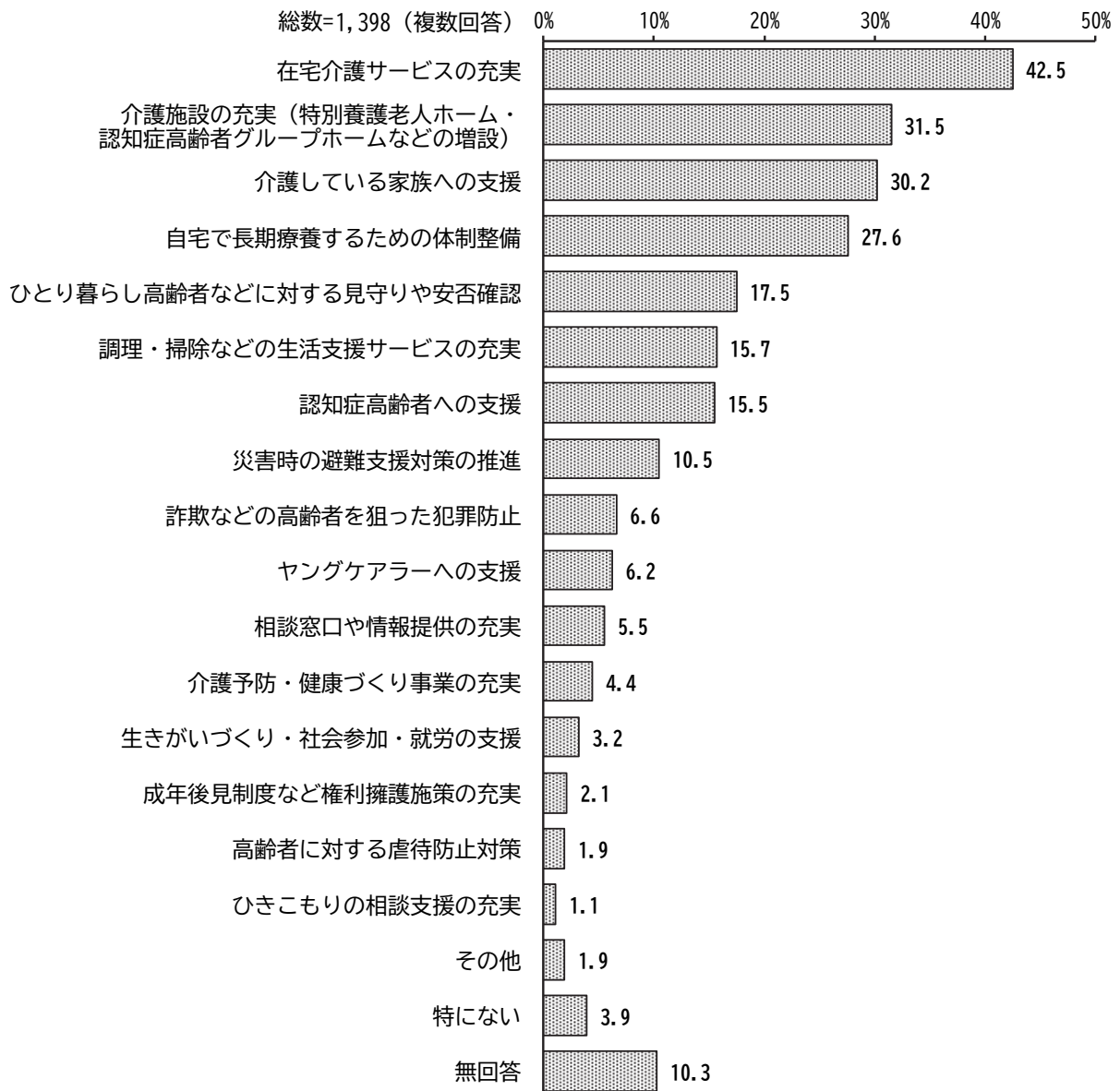
	全体	安否確認の支援	避難所までの移動支援	避難指示や火災発生などの情報を得るための支援	避難所（在宅避難を含む）での生活支援	「個別支援プラン」の作成支援 避難先や避難経路、配慮が必要なこと等を記入する	要介護や認知症についての他の避難者の理解を得るための支援	その他	特にない	無回答	
全体	1,398 100.0	708 50.6	878 62.8	375 26.8	806 57.7	254 18.2	419 30.0	32 2.3	85 6.1	144 10.3	
家族構成	ひとり暮らし	360 100.0	208 57.8	224 62.2	108 30.0	198 55.0	69 19.2	81 22.5	12 3.3	28 7.8	40 11.1
	夫婦のみ （配偶者は65歳以上）	340 100.0	183 53.8	223 65.6	96 28.2	201 59.1	57 16.8	98 28.8	2 0.6	16 4.7	37 10.9
	夫婦のみ （配偶者は64歳以下）	15 100.0	6 40.0	7 46.7	4 26.7	8 53.3	3 20.0	5 33.3	1 6.7	2 13.3	1 6.7
	息子・娘と同居 （息子・娘は65歳以上）	110 100.0	46 41.8	60 54.5	25 22.7	59 53.6	11 10.0	33 30.0	5 4.5	7 6.4	9 8.2
	息子・娘と同居 （息子・娘は64歳以下）	395 100.0	183 46.3	259 65.6	101 25.6	243 61.5	83 21.0	144 36.5	9 2.3	23 5.8	29 7.3
	その他	135 100.0	60 44.4	83 61.5	33 24.4	79 58.5	25 18.5	43 31.9	3 2.2	8 5.9	19 14.1
	無回答	43 100.0	22 51.2	22 51.2	8 18.6	18 41.9	6 14.0	15 34.9	-	1 2.3	9 20.9

6 高齢者施策全般について

問27 目黒区において、これからの高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うものはどれですか。(〇は3つまで)

区で優先して取り組む必要があると思う高齢者施策は、「在宅介護サービスの充実」の割合が42.5%で最も高く、次いで「介護施設の充実（特別養護老人ホーム・認知症高齢者グループホームなどの増設）」が31.5%、「介護している家族への支援」が30.2%となっている。

図表2-6-1 優先的に取り組む必要がある高齢者施策



7 自由意見

問28 介護保険制度や高齢者保健福祉施策に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。

区に対するご意見・ご提案を自由に記入していただいたところ、213名の方から回答が寄せられた。

※原文の文意が損なわれないように抜粋して記載。

介護保険制度全般について

- 最近、介護施設や老人ホームなどでの虐待など、事件の多発が報道されていて、施設には恐ろしくて入りたくありません。自宅で介護サービスや支援を望む老人は多いと思いますので、訪問介護サービス制度の充実を提案します。
- 介護保険の利用の際の金額が複雑で分かりにくい。回数・時間・介護レベルを入れたら自動計算できるようなソフトが欲しい。
- 保険制度等分かりにくい、難しすぎる。もっと分かりやすく。
- 規則や制度などによる制限で、できないことが多いと感じます。もう少し柔軟に対応してくれると、サービス改善につながるのに、と思います。
- 地域包括支援センターに家族のことを相談しましたが、話しは聞いてくれたもののアドバイスはなく、自分で本を読んだり区役所に相談に行き少し分ってきた状態でした。
- 契約時の書類や説明書が多すぎるとは思います、簡略に出来ないものでしょうか。
- 在宅介護は、本当に大変です。資金やスタッフ等、色々と問題はありますが、もっと介護施設に入りやすいようにしてほしいと思います。
- 介護保険のお世話にならないでいる人達に還元する、何かしら褒美があると、張り合いが出来、皆がもっと元気でいようと努力するのではないですか。

介護保険料について

- 保険料を出来るだけ抑えてほしい。
- 健康で介護サービスを全く受けていないのに保険料が高く不満である。
- 介護保険料の見直し。本人負担はあるとしても上限1割程度にする。
- 年金生活で収入が少ないわりには、介護保険料が高すぎ。固定資産税や、医療保険料、その他公共料金の支払いもある。
- 年金生活で介護保険料を払い、介護サービス利用料を払うのはとても大変です。介護制度を利用するなら保険料は払わなくても良いと言う様にしてほしい。

要介護認定について

- 1年に1回の介護認定は負担が大きすぎる。
- 介護認定に年齢や環境も考慮してほしい。

- 要介護の認定方法。要介護 1 の時、サービス事業者の勧めで再認定をお願いしたが、変更なし。その後徐々に悪化して、期限切れる時に再認定したら急に要介護 4 になった。
- 要介護の認定が遅すぎる。
- 要介護を決める時の調査では、認知度と体力で決めているようですが、年齢が高くなると半年ずつ変化があるので判断方法、決定に疑問が有ります。考慮お願い致します。

在宅サービスについて

- 食生活が崩れやすい高齢者の調理補助や配食などのサービスを充実させてほしい。
- お掃除などお願いしても「そこは出来ない」ばかりです。
- 働きながら介護は大変ですが、同居だと受けられないサービスがあり、おかしいと思う。
- 制度があることで助かっているのですが、通院介助のとき、買物に寄ってほしいという要望には応えられないなど、高齢者にとっては納得しづらいようです。
- 自宅介護の場合に受けられるサービスの詳しい内容を記したものが欲しいです。
- 外出時（病院・歯科・美容院）の付き添いの支援。
- 家族も仕事がありあまり付き添いできないため、送迎や留守など臨時で頼める事柄がオプションであるといいなと思います。
- 休日及び夜間の介護医療体制の充実化を希望。
- 緊急時のサポートを強化していただきたいです。
- ひとりしていると気がめいってしまうので、お話しの方がいると安心。何の楽しみもなく一日を過ごすのは体力・気力が必要なので、やはり人の出入りがあると良いと思う。
- 認知による気難しさなどから私費でお願いせざるを得ない場合、少しでも補助などがあると有り難く思います。
- オムツの補助は要介護 2 以上ですが、要介護 1 でも使用しています。必要な高齢者全員を該当者としてほしいと切に思います。よろしくお願い致します。
- 現状で満足しているが、デイサービスやショートステイの施設をもっと増やしてもらいたい。

施設サービスについて

- 特別養護老人ホームに申込みしていますが、申込後に認知症がかなり進み、介護する私も腰を痛めている為とても大変です。ホームに入れていただきたいと願っております。
- 特養にすぐに入所できるように、充実させてほしい。
- 小規模多機能施設を増やしてほしい。
- 有料老人ホームの様な高額なところへは入れませんので、年金の範囲内で過ごせる施設があったら有難い。
- 介護は家族への負担が大きくなる。特別養護老人ホームを増やし要介護 1 や 2 でも入居できるようにするべきである。

ケアマネジャーについて

- ケアマネジャーの訪問は要介護 1 の私には 3 ヶ月に一度位で充分で、訪問されることが

わずらわしい。経費の無駄使いでは？

- 金額の説明もされずに口座引き落としの手続きを急かされたことがあり、認知症の方だと相手方の思いどおりにさせられそうです。介護の方達も大変だと存じますが、少しは真ある態度をなさることを希望します。
- 意欲的・積極的で当人と家族の気持ちを大切に下さる素晴らしいケアマネさんに担当して頂いています。ケアマネさんの資質も一様ではないようなので育成・スキルアップ等も必要ではないかと思えます。

介護人材について

- 介護サービスにあたる人材の教育（利用者に対する態度・言葉使い・やさしさプロとしての技術の向上）が何より大切と思えます。
- 今後介護に対する人的資源の不足が見込まれます。待遇の改善、教育訓練が急務だと思います。スタッフの不足と質の低下は防ぎたい。
- ヘルパーさんにも適正な給料を払って若い人でも働けるようになればよいと思う。ヘルパーさんの高齢化でこちらも気を使うことがある。
- 介護職員の質が、人手不足のせいかわずらわしい。（本来だったら職に耐えないようなレベルの人が従事している）
- 介護スタッフの待遇を良くしてほしい。待遇が悪ければ良い人材が集まらないし、集まったとしてもすぐに辞めてしまうから。

経済的負担について

- 若くして要介護になったため、金銭的にきつい。
- 介護保険の2割負担は負担が大きいのので今後のことが不安です。
- 経済的弱者に優しくお願いします。
- 年金支給額が減少し、保険料は上昇するため、可処分収入は減る一方。物価は上昇する状況になり生活は苦しくなっている。継続的な支援を厚くしていく政策を望みます。
- もっと介護制度がスムーズに利用できるよう料金を安くしてほしい。
- 介護サービスはいくつか受けてみたいと思うが、結局、費用負担の面で家族に頼らざるを得なくなってしまうため我慢している。

将来への不安・悩みについて

- 日を重ねるにつれて色々な事（食事、掃除、買物、洗濯等々）がつかなくなるので、心強くいられるように、長期に渡る支援や相談をよろしくお願いしたい。
- 現在要介護1で介護付有料老人ホームしか入れるところがなく、一生お世話にならなくてはならないのですが、高料金のため毎日悩んでいます。
- 現在は特に困難な事はないけれど、家族がいないので今後不自由な事が増えてゆくのが不安です。頼れるものがあれば、頼りたいと思っています。

- 一人暮らしで、夜など不安なことがあります。老後が心配ですが仕方ありません。
- 年をとって歩けなくて、何をしても人の力を借りなくてはならない。特別養護老人ホームに入りたいと思いますが、金額が高くなっている。申し込んでも何百人も待たなければならない。福祉を充実する事を願います。
- 老々介護で体調はあまり良くありません。毎日、痛みと疲れが取れません。外見は元気です。ねと言われますが、そうではありません。夫の介護は細かい事に大変時間がかかります。

家族介護について

- この生活がいつまで続くのか、先が見えない。介護が終わったら、自分も老いてしまい、何もできないのではないかと。
- コロナが一段落して、仕事を本格的に行わなければならない、現在の介護認定レベルでは十分にデイサービスに通えません。
- 家族と同居しておりますが、若い人は仕事があります。玄関が一つなのは、ひとり暮らしと認めないのはちょっと納得出来ません。
- フルタイムで勤務しています。家事と介護を同時に行うには無理があり、家族への費用負担、精神的・肉体的な負担を軽減する必要があります。生活保護では殆どのサービス等が無償提供されています。不公平感が生じない様な行政サービスや支援を目指して頂きたいです。
- 認知症の夫を介護しています。デイサービスやショートステイにお世話になるときに、私はホッと一息、病院まわりをします。ゆっくり休みたいです。

その他

- 散歩しても、座る所が少なくて外に出掛けなくなってしまう。歩行困難者や高齢者の為の休息できる椅子があると良いと思います。
- 買い物（食事・日用品）をするのに不便で、コミュニティーバスが住宅街を走ったり、小型車の販売が週3回あれば助かると思います。
- 高齢になると目、耳が不自由になってくるかと思うので、独り生活者が何が不自由なのか、把握出来るシステムがあると良いかと思う。
- 安心して、一人暮らしでも高齢者が暮せるようにしてほしいと思います。
- 体が弱ってきてます。色々考えています。介護制度や福祉施策は良いと思うが、もっと人との関わりを増やしてほしい。
- 視覚障害があるので、代読、代筆など目の変わりになるサービスを考えてほしい。
- 歩行困難のため通院にタクシーを利用するので負担が重い。運賃を少しでも負担してほしい。
- リハビリセンターを作ってほしい。
- 高齢者専用住宅を数多く公的資金で建設していただきたい。
- 成年後見制度を簡単に受けられる様にしてほしい。
- 他県で始まっている「本人の意思尊重」しつつ自立した生活ができるよう医師、弁護士等々がタッグを組むサービスの提供を検討してほしい。
- 地域に根ざした催し物（健康体操のような）、近くでの設定があったら良いと思います。

